

第4節 史跡の発掘調査と整備状況

1. 発掘調査

史跡甲府城跡の発掘調査は、平成2年度から舞鶴城公園整備事業に伴い始められた。事業終了後（平成16年度）も、様々な整備事業、復元事業に伴って発掘調査（試掘調査・立会調査含む）が行われてきたが、県庁舎やJR甲府駅周辺の史跡指定地外、武家地や町人地が広がる甲府城下町遺跡においても、様々な開発行為に伴い発掘調査を実施してきた経過がある。史跡内の調査者は県教育委員会が主体となって行ってきたが、史跡指定地外ではそれに加え、甲府市教育委員会も実施している。ここでは、発掘調査の成果について詳細に述べることとする。

(1) 天守台

【概要】

- ・天守台は、東面、北西面、南西面、南面、北面の各石垣及び穴蔵、階段、門礎石で構成されている。
- ・天守台石垣の東面、南西面、南面、北面の各石垣築石部及び隅角部の配石、勾配は築城期の石垣形状が安定的に残存している。
- ・北西面石垣及び穴蔵で、整備により旧状に復された石垣、石段がある。

【調査成果】

平成4年（1992）～平成6年（1994）の3次にわたり前面調査を行った。上面を北西側から時計回りに5区に分け、1区より5区の順に調査し、その後穴蔵部分を調査した。

【出土遺物】

天端より金箔大型鯨瓦（鱗）が出土した。

【検出遺構】

調査の結果、北側より礎石1（1石）、東側より礎石2（3石）が検出されたが、近・現代の鉄塔、四阿、防空監視施設等による攪乱が著しかった。

礎石

礎石1は、古い矢穴を有する方形の礎石であるが、調査により原位置ではないと判断できる。したがって、建物との関連については判断ができない。礎石2は四阿跡より検出された。江戸期の塀、または明治時代の四阿の礎石と考えられる。



天守台礎石

穴蔵

本丸から続く石段の上部に位置し、穴蔵への入口にあたる。楽只堂年録には門が描かれていることから、当該施設の礎石と考えられる。規模は約46cm四方で、直径9.5cmのダボ穴が開く。解体調査に伴い一時的に移動したが、原位置に再配置した。

(2) 本丸

【概要】

- ・北東部の本丸櫓跡及び櫓台石垣の一部が確認されている。
- ・本丸南側では鉄門の、本丸西側では銅門の関連遺構が確認されている。
- ・鉄門、銅門の礎石には門構造に係る門扉軸穴などの痕跡及び鉄門袖石垣の櫓門梁受け痕跡

が確認されている。

- ・鉄門南側の階段の下には、発掘調査で検出された築城期の石段が埋設保存されている。
- ・本丸全域には、築城期に石垣石材を切り出した石切場遺構が埋設保存されている。
- ・本丸南面の東西方向の石垣は築城時の形状を良好に留めており、天守台南面石垣と併せ標高 295m、総延長 80mに及んでいる。

【調査成果】

平成 2 年（1990）～平成 6 年（1994）、平成 8 年（1996）～平成 12 年（2000）にわたり調査を行った。

【出土遺物】

天守台下の瓦溜からは金箔鯨瓦（ほぼ全体の部位）や違い鷹の羽紋の飾り瓦などの、築城期の瓦が多く出土した。本丸が占める築城期の瓦の総量は全体量の約三分の一にあたり、その中でも浅野期以前の瓦の量は全体量の半数が集中する傾向にある。鯨瓦の分布では約 4 割が本丸に集中している。大型の鯨瓦の分布が集中していることから天守閣があった可能性が考えられる根拠の一つとなっている。建物の折れ部に使用される古手の滴水瓦も発見されている。石垣の裏栗層からは石臼や五輪塔など、中世の（甲府城築城以前の）石造物が多く出土しており、旧一蓮寺に由来するものや寺内町を構成する石工職人との関連性が窺われる。城域から発見された総数の 5 分の 1 が本曲輪から発見されている。

【検出遺構】

調査の結果、暗渠 4 ヶ所、石切場、石溜、石段、水路、礎石（鉄門）、水路、礎石（銅門）、瓦溜 6 ヶ所、礎石（本丸櫓台）、地中石垣 5 ヶ所が検出された。

暗 渠

暗渠 1 は、平成 5 年（1993）、本丸北腰石垣改修工事の際に検出された。検出された遺構部分は底部幅約 0.5m、深さ 0.8m、長さ 6.7m を測る。暗渠 2 は、平成 8 年（1996）、本丸北腰石垣東側改修工事の際に検出された。底部幅約 0.3m、深さ 0.4m、長さ 5.6m を測る。暗渠 3 は、平成 4 年（1992）の本丸南腰石垣の改修工事の際に検出された。幅約 0.5m、深さ 0.5m、長さ 5.8m を測り、平均勾配は 3.5° である。暗渠 4 は、平成 4（1992）、暗渠 3 の西側 30m の位置にあり、石垣解体時に検出されたもので、入口付近は検出されなかった。横幅約 0.5m、長さ 4.2m、平均勾配 5° の暗渠である。

石切場

石切場 1～4 は、平成 6 年（1994）・8 年（1996）・10 年（1998）の調査により本丸中央部から検出された。築城期に石を採取したのが最後と推察される。

石 溜

平成 5 年（1993）の調査により、本丸北西部から検出された。



石切場

鉄門（石段・水路・礎石）

鉄門は本丸南西にある櫓門で、桁行 7 間半、梁行 2 間半を測る。天守曲輪と本丸の境にあたる門で、明治初年まで存在した。平成 5 年（1993）の調査以前に主柱の礎石 3 個、控え柱の礎石 2 個が露出していた。調

査により控え柱の礎石 5 個、水路が検出された。現在石段は埋設保存され、江戸期石段が復元されている。平成 12 年（2002）に園路整備に伴い調査を行い、現在遺構は復元展示されている。

銅門（水路・礎石）

銅門は本丸西側に位置する櫓門で、桁行 5 間半、梁行 2 間半を測る。本丸と二の丸の境にあたる櫓門である。平成 5 年の調査以前に支柱の礎石 3 個、控え柱の礎石 4 個が露出していた。調査により、控え柱礎石 1 個、石組み水路が検出された。平成 6 年（1996）、謝恩碑周辺の石垣改修に伴い、銅門南石垣を解体した際、享保 12 年（1727）の火災を受けた焼土と礎石 1 個が検出された。その後本丸園路整備工事に伴い、断続的に調査が行われ、遺構は復元展示されている。



鉄門石段



銅門水路

瓦溜

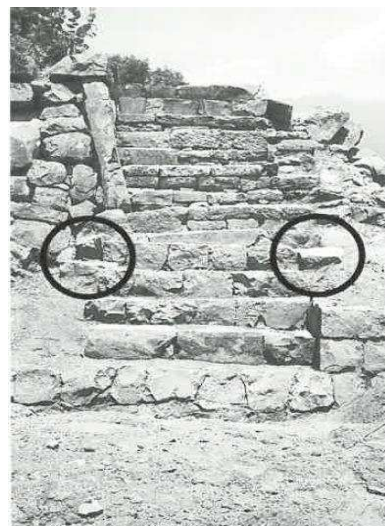
平成 4 年の調査で北腰石垣下より、瓦溜 2 ヶ所を検出。平成 8 年本丸中央部の調査で、瓦溜 3 ヶ所を検出。平成 11 年の天守台下調査で、瓦溜 1 ヶ所を検出。金箔鯨瓦、鬼瓦など多数出土。

礎石（本丸櫓）

平成 9 年（1997）の石垣解体調査で、北腰石垣西側の石段両脇に、本丸櫓に関連するものと考えられる礎石 2 個が検出された。

地中石垣

平成 5 年の本丸北西部の調査で、地表面から約 30 cm 掘削した位置から、南北方向に地中石垣 3 ヶ所、腰石垣根石ラインに沿って、東西方向に 1 ヶ所、東側に南北方向で 1 ヶ所が検出された。検出された溝部分は東西方向が 5m を測り、その他は全長 10m を測る。



本丸櫓石段と礎石

（3）天守曲輪

【概要】

- ・天守曲輪南側の東西石垣の内法には、地中石垣が埋設保存されている。
- ・天守台および本丸の東、南、北の段下を構成する帯状に囲う曲輪形状である。
- ・石垣の多くは明治時代以降の改変をうけているが、標高 287m 総延長 140m の石垣で構成される
- ・南側景観は本丸石垣と併せみられる階層状の石垣景観である。
- ・中の門等埋設保存されている遺構がある。

【調査経過】

平成 2 年（1990）～平成 9 年（1997）に渡り、断続的に調査をおこなった。

【出土遺物】

鉄門南側からは大型鯨瓦の胸鰭の部位がまとまって発見されている。石垣の裏栗層からは石臼や五輪塔など、中世の（甲府城築城以前の）石造物が多く出土した。城域では2番目に多い量である。

【検出遺構】

調査の結果、井戸、石段、中の門の石段・水路・礎石の抜かれた跡、瓦溜2ヶ所、地中石垣12ヶ所が検出された。

井戸

平成7年（1995）に、南西部の売店のあった位置より検出された。石垣改修時に検出されたもので、曲輪面より6m下がったところに位置していた。規模は上部の内径約1.6m、深さ9.5mであり、絵図にも描かれている井戸である。

石段

平成2年（1990）に曲輪南東部より、石段2段が検出された。天守曲輪北東より南部の境にあたる部分で、絵図にも描かれているが、検出された石段は江戸末期から明治以降のものと考えられる。

中の門（石段・水路・石列・礎石の抜かれた跡）

平成8年（1996）に石段跡、礎石を抜かれた跡が検出され、9年（1997）に石列が検出された。また中の門北側より瓦溜が検出された。

地中石垣

平成6年（1994）・9年（1997）の調査により、天守曲輪南側の石垣に対して垂直（南北）方向に5基が検出された。また、石垣に沿うような形で6基の石垣が検出された。その他に小規模な石垣が検出されている。南北方向の石垣は、4ヶ所で南端は腰石垣に接していて間隔は約4mである。その他の石垣は腰石垣の地中より検出され、高さ2～3mを測り、勾配、面を有する石垣である。これは、盛土と裏栗石の境界に構築された



地中石垣

もので、石垣の背面にほぼ平行していることから裏石垣とも呼称する

（4）帯曲輪

【概要】

- ・城内の狭小曲輪である。
- ・本丸の西、南西の段下を帯状に囲う曲輪形状である。

【調査経過】

平成7年（1995）・平成8年（1996）に銅門西下・鉄門階段西部分の調査をおこなった。

【出土遺物】

大型鯨瓦（鰭部分）・瓦（築城期の瓦は皆無）

【検出遺構】

トレンチ調査により石段跡ならびに柱穴を確認した。

柱穴

発掘調査で近代の安山岩による石段を撤去後、南から北へ下る9段の段差を確認したが、

石段は検出されなかった。銅門の北側下では、柵門のものと推測される柱穴 2 基を検出した。

瓦 溜

平成 7 年 (1995) に柵門西より検出された。

(5) 人質曲輪

【概要】

平成 2 年 (1990) ～平成 3 年 (1991)、平成 10 年 (1998)、平成 26 年に全面調査をおこなった。

【出土遺物】

下層部から築城期の多数の瓦中かから五三の桐紋の鬼板瓦や金箔鯨瓦が出土した。鬼瓦の表現方法には姫路城や大坂城出土の桐紋瓦と共通しており、豊臣秀吉が直接係わった城から発見される特徴があることから、甲府城の立ち位置が推察される資料である。鯨瓦と金箔瓦の出土量は、本丸に次いで多い地点である。大型鯨瓦の部位を含め、残存率の高い小型の金箔鯨瓦の存在は注目される。

【検出遺構】

調査の結果、瓦溜が検出された。

瓦 溜

曲輪全体が明治時代以降の瓦層の様相を呈しており、この瓦層のさらに下層から金箔瓦を混入する古い瓦層が確認された。

(6) 二の丸

【概要】

- ・現在残る西端の曲輪で、西面石垣、南面石垣が東面石垣の一部が築城時の石垣形状を良好に留めている。
- ・東側石垣の一部は江戸時代初期の様相を残し、数少ない指標となる石垣である。
- ・西面石垣の南側は、昭和初期の鉄道建設により取り壊されているが、技術差のない野面積み石垣による改修の痕跡が見られる。
- ・東面石垣の内側は一部崩落しているが、築城期の石段が残存している。
- ・坂下門の礎石、地業が埋設保存されている。

【調査経過】

平成 5 年 (1993) ～平成 10 年 (1998)、平成 19 年 (2007)、平成 26 年 (2014) にわたり、断続的に調査をおこなった。

【出土遺物】

築城期の瓦は僅かであるが発見されている。

石垣からは石臼や双体道祖神、墓石類など、中世の (甲府城築城以前の) 石造物が発見されている。

【検出遺構】

発掘調査の結果、瓦溜 2 ヶ所、石列、礎石・柱穴 (内松陰門・山の井門)、が検出された。

瓦 溜

瓦溜 1 は、平成 5 年 (1993) の調査で中の門石段南側に検出された。瓦溜 2 は、平成 7 年 (1995) の山の井門の発掘調査で検出された。

石 列

平成 5 年 (1993) の調査で、中の門南側の石垣下部分より石列が検出された。石列は東西に並び、一辺が 80 cm～90 cm の自然石だった。

坂下門 (石段跡・石段・柱穴)

坂下門は甲府城跡の南西部に位置し、鍛冶曲輪から天守曲輪、二の丸へ通じる門である。平成 6 年 (1994)・平成 10 年 (1998) に調査をおこなった。西側にある礎石は調査前より露出していた。平成 10 年に門より南側を調査し、坂下門南側に石段跡、東に折れた鍛冶曲輪側に南北に石段が二列、柱穴群が検出された。なお、礎石は埋設保存されている。

礎石・柱穴 (内松陰門・山の井門)

平成 7 年 (1995) の内松陰門と山の井門の調査で内松陰門の礎石と礎石を抜いた穴が検出された。山の井門は内松陰門の南に位置し、二の丸への入り口にあたるが現存していない。山の井門の調査では、南側に柱穴が検出されたが、山の井門との関連を想定できるものではなかった。調査区の北側に南北に並ぶ石列が検出されたが、近代以降の石列であった。

柱 穴

平成 5 年 (1993) 中の門南側調査で柱穴が検出された。

暗 渠

平成 19 年 (2014) の台所曲輪地点から確認された。

根石抜き取り跡 (月見櫓)

平成 26 年 (2014) の調査で石垣の痕跡と思われる落ち込みや、石垣脇に設置されたと考えられる水路を検出した。

(7) 稻荷曲輪

【概要】

- ・曲輪の北面には、標高 291m 総延長 120m の築城期域の高石垣が残る。
- ・曲輪の東面には高さ約 20m の石垣が、曲輪の北東には高さ約 15m の石垣が見られるが、これらは築城期のものであり、出入隅構造となっている。
- ・曲輪北東石垣の内側には、技術差のない野面積み石垣による改修の痕跡と線刻画が見られる。
- ・曲輪北西部には、井戸・煙硝蔵遺構が埋設保存されている。
- ・曲輪東面石垣の内側では、建物礎石の遺構が露出展示されている。

【調査経過】

平成 2 年 (1990)～平成 4 年 (1992)、平成 6 年 (1994)～平成 14 年 (2002) に科学センター跡を除く調査をおこなった。

【出土遺物】

瓦溜から、獅子留め蓋瓦や全国的にも類例の少ない風神を模した鬼瓦、違い鷹の羽紋の鬼瓦が発見されている。築城期の瓦は本丸に次いで多い出土量を誇り、注目されるのは浅野期の瓦が多量に出土していることや本来リサイクルされるはずの釘が 300 本近く発見されていることから、ある時期に何かの目的で建物が意図して破壊されたことを示している。そのほか、住友銅吹所で見られるものと同様の棹鉛の出土も珍しく、煙硝蔵との関連性が窺われる存在である。過去に屋形曲輪でも同類のものが発見されている花菱の紋を用いた銅製の釘隠しなども発見されている。

この他、石垣に関連しては、甲府城の鬼門に位置する地点に関連することも想定されるが、改修時に多数の線刻された築石が 178 点確認されており、全体的に見ても集中している。

【検出遺構】

発掘調査の結果、暗渠 2 ヶ所、石段（天守曲輪門）、石段・柱穴（稲荷曲輪門）、井戸 2 基、稲荷社柱穴、煙硝蔵跡、階段石・柱穴（数寄屋勝手門）、瓦溜 9 ヶ所、礎石 3 ヶ所、柱穴 4 基、土坑が検出された。

暗 渠

暗渠 1 は、平成 4 年（1992）、稲荷曲輪南側、稲荷曲輪門東より検出された。幅約 0.5m、高さ 0.4m、長さ 7m を測る。暗渠 2 は、平成 9 年（1997）の調査で、数寄屋勝手門東側の腰石垣より検出されたが、確認されたのは一部のみで、全体の規模は不明である。

石 段

平成 14 年（2002）の調査で、天守曲輪から稲荷曲輪に続くスロープ部分より検出された、天守曲輪門の石段である。幅約 2.5m、長さ 8.4m を測る。現在石段部分は埋設保存されている。



石 段

稲荷曲輪門（石段・柱穴）

平成 2（1990）の調査で、稲荷曲輪門より石段 2 段とその南側に柱穴 1 基が検出された。

井 戸

井戸 1 は、平成 10 年（1998）の調査で、稲荷曲輪西部、番所跡周辺より検出された。規模は内径約 1.8m、深さ 6m を超える。石組み部分は 4.5m で、そこからは地盤を掘り下げている。井戸 2 は、平成 2 年（1990）の調査で、天守曲輪北東石垣下部分より検出された。規模は約 2.5m×3.6m の不正方形で、井戸というより水溜の性格が強いと考えられる。このほか、甲府城築城以前の井戸が 5 基確認されたており旧一蓮寺を取り巻く寺内町との関連が窺われる。

煙硝蔵

平成 9 年（1997）の調査で、稲荷曲輪北西部より検出された。規模は底部で東西約 4.8m、南北 4.2m、確認面からの深さ 2.1m を測る、地下構造の施設である。底部床面には扁平の石材が敷かれている。

数寄屋勝手門（石段・柱穴）

平成 9 年（1997）の調査で、数寄屋勝手門に属すると思われる石段と柱穴が検出された。

遺構は稲荷曲輪南腰石垣の復元改修工事の際に検出された。



柱 穴

瓦 溜

瓦溜 1 は、平成 9 年（1997）の煙硝蔵周辺の調査に。瓦溜 2 は、平成 9 年（1997）の北腰石垣下の調査により検出された。瓦溜 5 は、平成 7 年（1995）の調査により検出された。檜台石垣改修のため、ストックヤードとなる予定地の調査であったが、近代遺構による攪乱のため、瓦溜一基の確認のみ

にとどまった。瓦溜6は、平成4年(1992)の南腰石垣改修に先駆けて調査がおこなわれた際に検出された。瓦溜7は、平成11年(1999)、機関車の撤去にともないおこなわれた調査の際に検出された。瓦溜8は、平成4年(1992)の調査により検出された。人質曲輪から本丸櫓の北下の広範囲にわたる瓦溜で、獅子留め蓋瓦や風神を模した鬼瓦などを含む瓦層を確認した。



瓦溜

稲荷櫓跡(礎石)

平成8年度(1996)の稲荷櫓台上面の調査により検出された礎石列で、稲荷櫓の礎石と考えられる。また礎石の下層より密教の法具である輪宝5点が出土した。



礎石列

礎石

平成6年(1994)・平成8年(1996)の稲荷曲輪東腰石垣改修工事の際、検出された。櫓台南側から東腰石垣へ続く多門櫓の存在が指摘されたが、当時は絵図には認められなかったこともあり否定的だったが、近年の絵図の調査で建物が描かれているものがあり、多門櫓の存在が現実的になりつつある。

また、礎石3は東腰石垣の東面の合坂の上下に石列が露出された状態になっていた。東腰石垣に関しては、築城期の埋め殺された石垣や合坂、石段が検出されており、多門櫓の建設に伴い縄張りの変更がなされた可能性がある。



輪宝出土状況

柱穴

平成9年(1997)の調査により1基検出された。煙硝蔵関連の遺構と考えられたが、攪乱が激しく、明確にするには至らなかった。また、平成10年(1998)の北腰石垣上面調査により、塀の控え柱のものと思われる柱穴が2基検出された。平成10年(1998)の調査では、絵図に描かれた番所跡周辺を調査した。柱穴が数基検出されたが、番所に関わるものとの確認にはいたらなかった。

土坑

平成9年(1997)の調査により検出されたが、時期などは不明である。

庄城稲荷社

平成2年(1990)の調査により検出された。一条小山の守護ともいわれていた当社は、戦災で城外に出される以前までであった。陶製のキツネが多数出土している。

(8) 数寄屋曲輪

【概要】

- ・複雑な形状を残す曲輪の形を呈する。
- ・曲輪の各面を構成するのは築城期の石垣である。

- ・曲輪南側には、櫓台石垣がある。
- ・石切場遺構・建物等関連遺構が埋設保存されている。

【調査経過】

発掘調査は平成3年(1991)～平成4年(1992)、平成9年(1997)、平成10年(1998)に調査をおこなった。

【出土遺物】

鉛製の錘が発見されている。普請に係わる工具の発見例はとて少ないので貴重な事例である。また、瓦当面に金箔が施された違い鷹の羽紋の軒丸瓦と違い鷹の羽紋の大型飾り瓦が発見されている。

【検出遺構】

発掘調査の結果、暗渠、石切場、瓦溜2ヶ所、礎石3ヶ所、柱穴、土坑2基が検出された。

暗 渠

平成9年(1997)の調査により検出された。検出された部分は幅約0.7m、長さ約3.5m、高低差1.2mを測る。北側のほぼ延長上の稲荷曲輪腰石垣にも暗渠が認められ、数寄屋曲輪の暗渠は石切り場の南側より検出され、鍛冶曲輪に面する石垣まで続いていると考えられる。



石切場

石切場

平成9年(1997)の調査により検出された。暗渠の北側にあたり、数寄屋勝手門の南側に位置する。矢穴、線刻画の入った石材が検出された。



瓦 溜

瓦 溜

瓦溜₁は、平成9年(1997)の調査により検出された。石切場と同位置にあたり、大型円形違い鷹の羽家紋飾り瓦が出土した。瓦溜₂は、平成10年(1998)の調査により検出された。出土した瓦は

築城期から江戸期のものまで幅広い。瓦溜₃は、平成3年(1991)の数寄屋曲輪西石垣改修工事ともなう調査により検出された。数寄屋曲輪と同様、直下の石垣下にも瓦が出土している。

礎 石

礎石₁は、平成10年(1998)の調査により検出された。数寄屋曲輪北石垣の天端石より4尺、約3m間隔で並んで検出され、位置関係より塀の柱の礎石と推測できる。礎石_{2・3}は、平成4年(1992)の調査で、数寄屋曲輪門石段上部の両脇より検出された。周辺は攪乱されている。

柱 穴

平成 10 年（1998）の調査により検出された。直径平均 30 cm を測り、9 基確認された。絵図には番所が描かれているが、番所関連の遺構であるかどうかは確認できない。



柱 穴

土 坑

平成 10 年（1998）の調査により検出された。周辺は石切場、瓦溜で、焼土、炭化物が土坑を中心に分布している。かわらけ、獣骨が出土した。地鎮を施した遺構と推定されている。

（9）鍛冶曲輪

【概要】

- ・南端に位置し、東西に長い曲輪形状である。
- ・曲輪北東部には、露出している石切場遺構がある。
- ・曲輪中央部には、米倉跡などの遺構群が埋設保存されている。

【調査経過】

平成 3 年（1991）～平成 7 年（1995）、平成 10 年（1998）、平成 11 年（1999）に調査をおこなった。

【出土遺物】

築城期の瓦は非常に少ない。金箔鯨瓦が曲輪の西側から発見されている。

【検出遺構】

発掘調査の結果、暗渠 2 ヶ所、池状遺構・マウンド状土手・道状遺構、石切場、石組水路 2 ヶ所、石組水溜、井戸 3 基、井戸 4 基・柱穴、礎石、鍛冶曲輪門跡、坂下門遺構、瓦溜 5 ヶ所、米蔵基礎、柱穴群、胴木、土坑が検出された。

暗 渠

暗渠 1・2 は、平成 3 年（1991）の石垣解体工事により検出された。暗渠 1 は幅約 0.6m、深さ 0.3m、地表面より 4.1m 下がった、海拔約 269m の位置にある。暗渠 2 は幅約 0.6m、深さ 0.4m、地表面より 4.7m 下がり、海拔は暗渠 1 と同じ、約 269m である。

池状遺構・マウンド状土手・道状遺構

平成 5 年（1993）の発掘調査により確認された。位置は鍛冶曲輪の西側、恩賜林記念館の東側で、整備前には花時計があった。表土より 30 cm 下面の調査区全体にコンクリート基礎が検出され、遺構はその直下であった。北側は池あるいは湿地状で、その南側は土手状になっている。

石切場

鍛冶曲輪の北東部に位置し、岩盤が地表に現れている。周辺部を含む発掘調査では石切に関連する遺構は確認できなかったが、露頭に矢穴の存在を確認することができた。



石切場

石組水路

石組水路1は、平成5年(1993)の鍛冶曲輪西側の調査により検出された。幅約0.6m、深さ0.5m、検出された部分は長さ6.7mを測る。池状遺構より南に位置しており、堀へ流す機能をしていたと推測される。石組水路2は、平成6年(1994)の鍛冶曲輪中央部の調査により検出された。幅約0.3m、深さ0.4m、検出された部分は長さ3.5mを測る。

石組水溜

平成11年(1999)の鍛冶曲輪北西部の調査により検出された。東西約1.8m、南北0.8m、深さ平均0.6mを測る。絵図には記載されていない。

井戸

井戸1は、平成7年(1995)の鍛冶曲輪東部の調査により検出された。加工されていない自然石で構成されており、内径1.8m、深さ約3.5mまで掘り下げ、現在は埋設保存されている。井戸の周囲1~3mの範囲を栗石が囲んでいる構造になっている。絵図にも描かれている井戸ではあるが、明治時代に使用されていたかどうかは不明である。井戸2は、平成年(1994)の鍛冶曲輪中央部の調査により、表土面より0.7m下がった地点より検出された内径1.0m、深さ5mを測り、上部コンクリート蓋の撤去後、1mまでが石組、以下約2.0mは丸太材、その下部は地山の岩盤をくり貫いた構造になっている。井戸内より瓦・陶磁器片などが出土した。井戸の設置時期は幕末から明治期と推定される。井戸3は、平成3年(1991)の遊亀橋東側の堀北石垣改修工事の際、ノリ面を掘削した際に検出さ



井戸と桶

れた。井戸は木枠部分が長軸1.3m、短軸1.2mの不整形で、検出された位置と遺物から、甲府城築城前の鎌倉時代末~室町時代に使用されていたと考えられる。

また、平成11年(1999)に稲荷門東側で、未完掘の井戸を確認した。井戸は外径2.2mで、地盤を浅く掘り込んでのみで、現状からは実際に機能していたと考えることは出来ない。

石段

平成10年(1998)の稲荷門南側の調査で、地山まで下げた地点より検出された。石段は確認できなかったが、地山を階段状に掘削した痕跡が確認できた。

鍛冶曲輪門跡

鍛冶曲輪門は鍛冶曲輪の西端に位置し、楽屋曲輪と鍛冶曲輪の境にあたる門である。平成4年(1992)に調査をおこなった。礎石の抜かれた跡と石が検出されたが、門跡は公園内の建物へ供給されたガス管、水道管、電話線などの埋設物や、アスファルト舗装のための碎石等で著しく攪乱を受けていた。

米蔵基礎

平成6年(1994)の調査により検出された。米蔵は「楽只堂年録」によると鍛冶曲輪の南側、現在の管理棟、遊亀橋の位置に東西に2棟が建てられていた。米蔵基礎は表土より1m下層に検出された。規模は東西約7m、南北約4mのL字型を呈し、5~10cm程度の礫群である。

礎 石

平成4年(1992)に鍛冶曲輪南側より検出された。礎石間隔や規模が不明であり、描かれている絵図も発見されておらず、どのような建物であるか明らかでない。

柱 穴

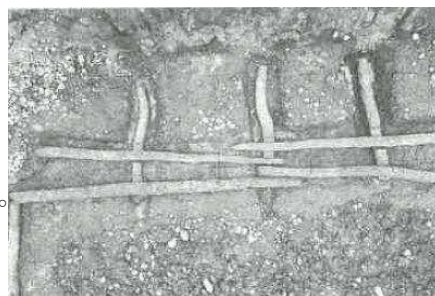
柱穴1は、平成10年(1998)の鍛冶曲輪東腰石垣天端より検出された。直径が平均約50cmの挿り鉢状で、塀の控え柱のものと考えられる。柱穴2は、平成7年(1995)の鍛冶曲輪東側の調査により検出された。調査箇所は「楽只堂年録」では米蔵と勘定所、明治以降は勸業試験場関連施設が建てられていた。

勘定所については、鍛冶曲輪中央の北東側に位置し、調査により6基の柱穴が検出されたが、付近には明治以降の建築物の柱穴が多数検出された。柱穴3は、平成5年(1993)の管理棟裏側の腰石垣天端調査により5基検出された。塀のものと推定され、中からは大量の瓦が出土した。

また、稲荷曲輪門の東側石垣に沿うように柱穴が5基確認された。機能・時期は不明であるが、位置関係から石垣を構築する際の設備に関連する可能性がある。

洞 木

洞木は、平成3年(1991)の堀石垣解体調査の際、石垣の根石下より検出された。石垣に沿って、洞木の材質は主に松材であるが、橋の東側(安政の大地震で崩落したと伝わる石垣部分)部分からはクヌギ材が検出された。



洞 木

土 坑

平成6年(1994)の鍛冶曲輪門石垣天端調査の際に検出された。東側は堀石垣とつながり、南に直進して楽屋曲輪、山の手門へと通じる石垣であったが、現在は独立した形となっている。土坑は石垣南側に位置し、古銭と人骨が検出された。

(10) 清水曲輪

【概要】

- ・内城最北端に位置する曲輪。
- ・北東部には、内城への主要出入り口である山手門がある。
- ・山手門周辺や北西隅の清水櫓台やの石垣等は埋設保存されている。

【調査経過】

平成9年(1997)、平成10年(1998)、平成15年(2002)、平成17年(2005)～平成22年(2010)、平成26年(2014)、平成28年(2016)に調査が行われた。

【出土遺物】

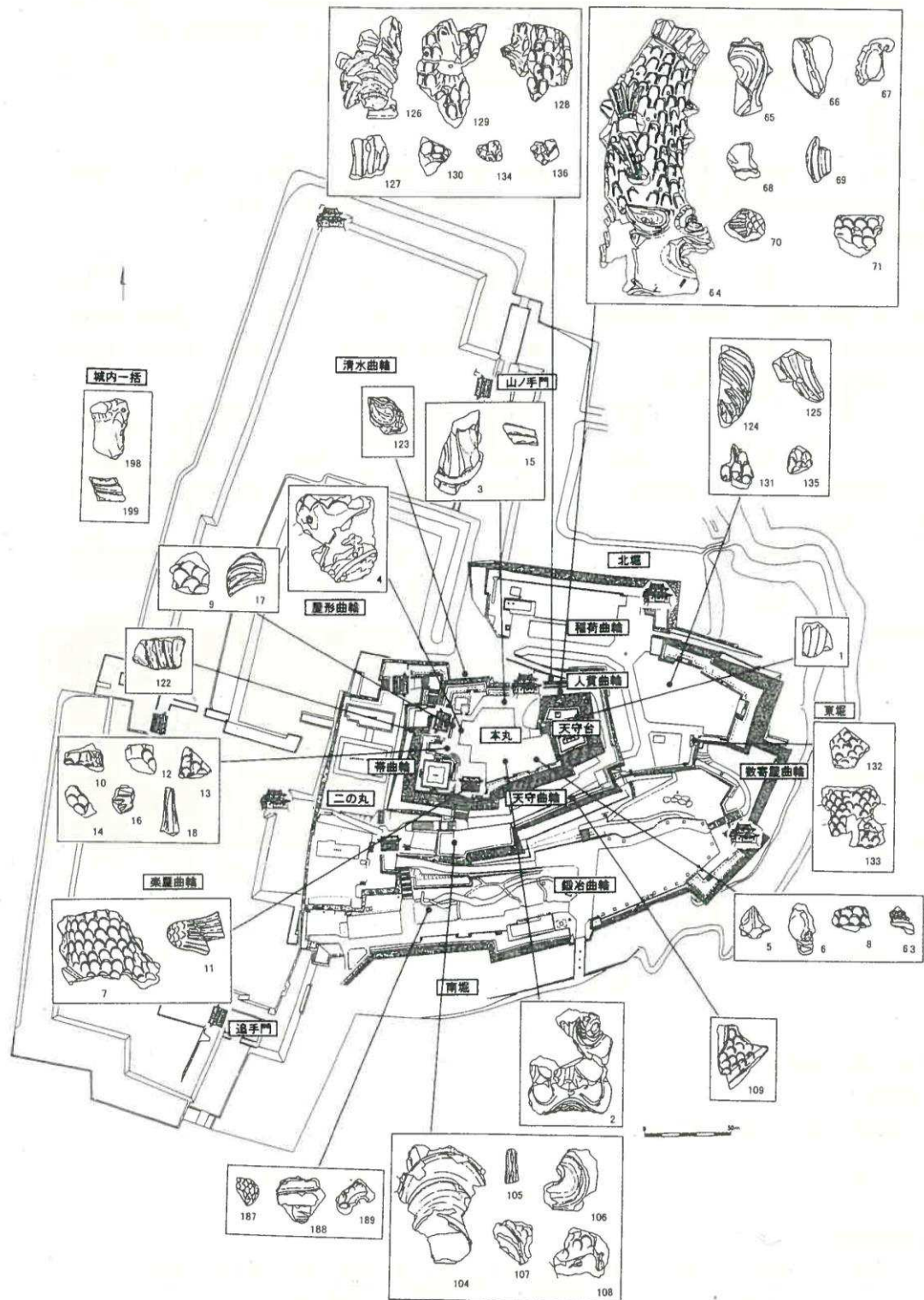
享保12年(1727)の大火により焼失した城内建物の被災瓦が出土した。

【検出遺構】

調査の結果、山手門へと通じる土橋、一の堀に面する石垣、曲輪内の土塁、井戸、瓦溜等が検出された。

土 橋

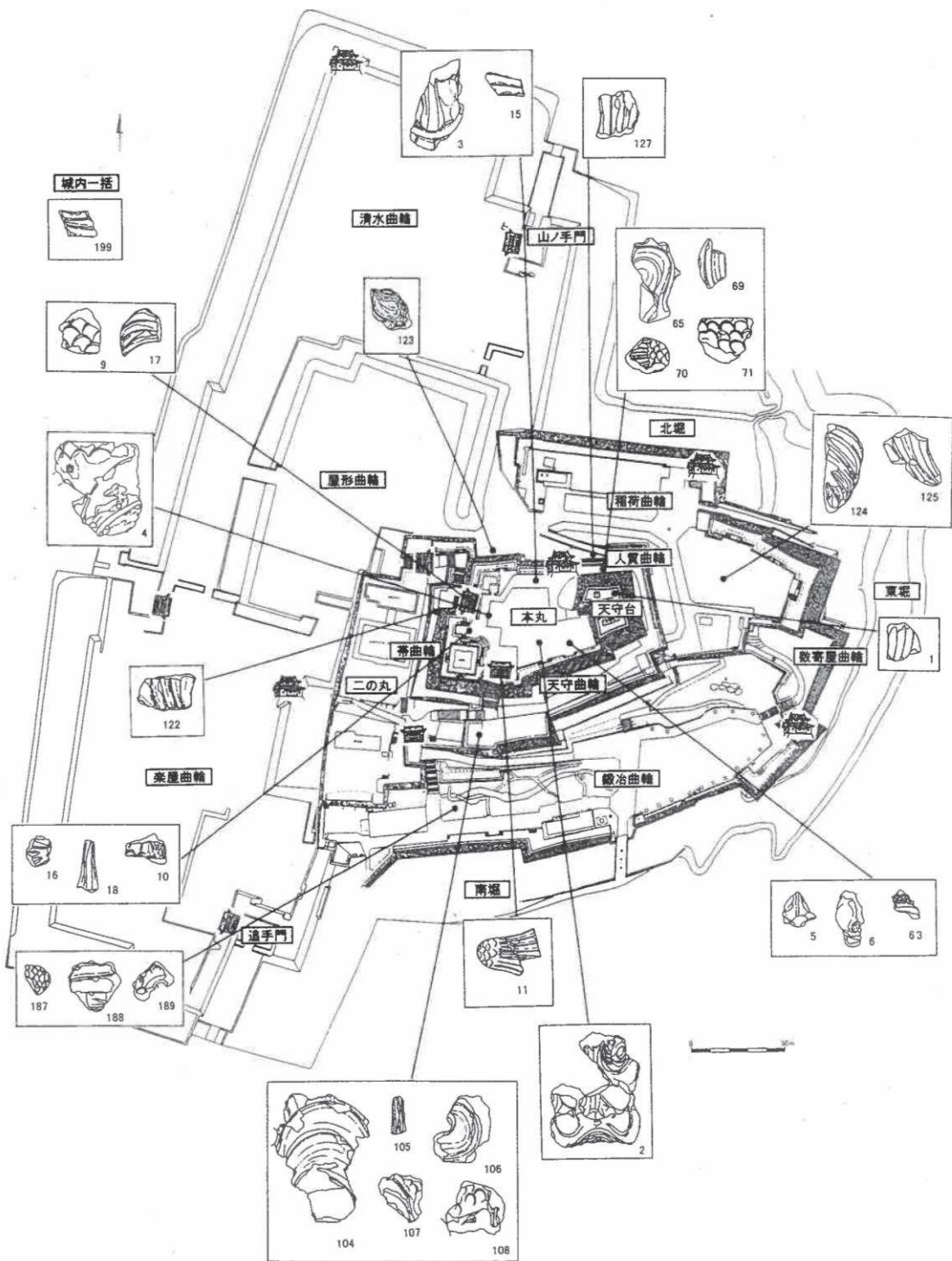
平成10年度の甲府駅周辺新都市拠点整備事業および山手御門復元整備工事に伴う調査



鯨瓦出土分布図

※「県指定史跡甲府城（上巻）」（2005年3月）より転載

遺物の番号は「県指定史跡甲府城（上巻）」の図版番号



大型鯨瓦の破片と思われる鯨瓦片分布図

※「県指定史跡甲府城（上巻）」（2005年3月）より転載

遺物の番号は「県指定史跡甲府城（上巻）」の図版番号

により土橋東西面の石垣が検出された。東面石垣は攪乱が著しいが基底部長 4.3m、高さ約 1mの野面積み石垣である。西面石垣は全長 12m、高さ約 4mの規模を有し、南側約 4mは野面積み石垣であるが、北側は布目積み等の積み直しがみられる。東西両面とも栗石層がみられるものの奥行きは 0.4～0.5mと薄い。

石 垣

平成 9・10・17 年度に実施された甲府駅周辺新都市拠点整備事業および山手御門復元整備工事に伴う調査により、山手門周辺の一の堀に面する野面積み石垣が確認されている。また、平成 19 年度から平成 22 年度に実施された甲府駅周辺土地区画整理事業に伴う調査では、清水櫓周辺の石垣が確認されている。大半が甲府城築城期の野面積み石垣であるが、清水櫓台以南では宝永 4 年（1707）の大地震後に積み直されたと考えられる石垣もみられる。このほか、清水曲輪南西部では、平成 15 年度（県庁構内公用車駐車場建設試掘調査）、平成 18 年度（道路建設立会調査）、平成 20 年度（ガス管敷設立会調査）により一の堀に面する石垣が検出されたほか、平成 26 年度の県庁舎耐震化等整備事業に伴う調査により中仕切門脇の石垣を確認している。

土 塁

平成 19 年度から平成 22 年度に実施された甲府駅周辺土地区画整理事業に伴う調査により曲輪内の土手が確認されている。

瓦 溜

平成 19 年度から平成 22 年度に実施された甲府駅周辺土地区画整理事業に伴う調査により、土手法尻へ押し付けるように高さ約 1m積み上げられた状態で検出された。享保 12 年（1727）の大火により焼失した城内建物の被災瓦と考えられる。柳沢時代の城内建物に葺かれていた瓦が一括廃棄されたものであり、同時代性の高い一括資料となる。

（1 1）屋形曲輪

屋形曲輪の内部については、絵図等に描かれた建物は現在までの調査により確認されていないが、平成 10 年度に外松陰門北側において実施された駐車場建設に伴う試掘調査では柱穴や苑池状遺構が確認されている。

屋形曲輪の周囲を巡る内堀は、平成 9 年度（駐輪場建設試掘調査）、平成 10 年度（舞鶴城公園駐車場建設発掘調査）、平成 17 年度（JR 東日本総合事務所建設発掘調査）、平成 26 年度（駐輪場建設発掘調査）の計 4 回の調査が行われており、それぞれ内堀が確認されているほか、平成 10 年度の調査では堀内を横断する石積みが検出されている。

また、屋形曲輪南側で平成 26 年度に実施された県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査では石垣裏の裏栗層と土塁造成土層が確認されている。

（1 2）楽屋曲輪（史跡指定地外）

【概要】

- ・南西端に位置する、南北に長い曲輪形状である。
- ・南東部に大手門、北西部に柳門と、内城への主要出入り口の 2 門がある。
- ・大手門・柳門・楽屋曲輪書院等の建物礎石や石垣、温泉遺構等が埋設保存されている。

【調査経過】

平成 9 年（1997）、平成 13 年（2001）～平成 17 年（2005）、平成 19 年（2007）～平成 28 年（2016）、平成 30 年（2018）に調査が行われた。

【出土遺物】

全域より各時期の瓦や木製品、陶磁器等が出土した。

【検出遺構】

調査の結果、大手門・柳門・楽屋曲輪書院・番所等の建物に関する遺構（礎石・水路等）や温泉関連遺構、曲輪内の区画石垣、一の堀に面する石垣等が検出された。

大手門

平成 19 年度に実施された主要地方道甲府山梨線内における配水管敷設立会調査において高麗門のものと考えられる礎石のほか、板状の石を敷いた通路跡、大手木橋付近の石垣および護岸木杭を検出した。平成 27 年度には県庁舎耐震化等整備事業に伴う発掘調査により大手渡櫓門の南北方向に並んだ礎石 2 石が確認された。礎石は 2 石とも江戸期の地表面より上方部分に筋状のノミ加工痕跡が加えられている。

また、北側の礎石には扉の軸を支える円形のホゾ孔と柱を受ける長方形のホゾ孔がみられる。また、平成 19 年度（主要地方道甲府山梨線配水管敷設立会調査）、平成 22 年度（県庁舎耐震化等整備事業山梨県防災新館建設発掘調査）、平成 27 年度（県庁舎耐震化等整備事業外構整備工事発掘調査）の調査により、大手門周辺の石垣が確認され、大手門周辺の空間構成が概ね把握されている。



大手門礎石



山梨県防災新館建設に伴う発掘調査

柳 門

平成 25 年度の県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査により御坂宿に於ける石組み水路を確認したほか、平成 27 年度の店舗建設に伴う試掘調査により高麗門礎石 1 個と礎石抜き取り痕跡 1 カ所、袖石垣、高麗門南側の野面積み石垣を確認した。礎石は筋状のノミ加工痕がみられ、袖石垣と推定される四角錐の加工石とともに江戸時代中期以降に整備されたものと考えられる。また、平成 15 年（公用車駐車場建設試掘調査）、平成 26・27 年度（県庁舎耐震化等整備事業確認調査・立会調査）の調査により柳門周辺の石垣が検出され、柳門周辺の空間構成が概ね把握されている。

楽屋曲輪書院・長屋

楽屋曲輪中央部に設けられていた楽屋曲輪書院・長屋は、平成 13 年度の県庁構内給排水管理設管立会調査や、平成 22 年度から平成 27 年度までの県庁舎耐震化等整備事業に伴う調査により、礎石や石列、石組み水路等が数多く確認され、いずれも埋設保存されている。

番所

平成 22 年度の県庁舎耐震化等整備事業山梨県防災新館建設に伴う発掘調査により、礎石 2 個と石列、暗渠が検出されたほか、平成 25・27 年度の県庁舎耐震化等整備事業外構整備工事立会調査により、石列が確認されている。

温泉関連遺構

平成 25・26 年度に県庁舎耐震化等整備事業に伴い実施した山梨県議会議事堂委員会室棟建設に伴う発掘調査では、絵図にも記載されている楽屋曲輪西側に存在した温泉に関連すると思われる安山岩岩盤上に設置された敷石遺構が確認されている。敷石遺構周囲は近代以降の攪乱により破壊され、全体規模は不明であるが、敷石中央部には水路が岩盤を削り出し、南東部には石列が設置されている。石列側面には黒色の水平変色帯がみられ、遺構内部に水分が堆積してい



温泉遺構

たと考えられる。また、土壌の蛍光 X 分析によると硫黄が周辺の土壌よりも高い割合で含まれることから、温泉関連の遺構であったことが高い。

区画石垣

平成 27 年度の県庁舎耐震化等整備事業に伴う発掘調査により、南北約 22m、東西約 2.5 m、最大高約 1m の範囲で、東、西、南に面して、「コ」の字状に並ぶ石垣と、石垣背面の栗石を確認した。西面石垣の下部は野面積み、上部は打込み接ぎ、東面石垣は切り込み接ぎで積まれており、江戸時代に複数回の改修が行われていたことが想定される。

石垣・土塁

楽屋曲輪西側石垣については、実施された平成 9 年度の店舗建設に伴う試掘調査や平成 27 年度の県庁舎耐震化等整備事業に伴う発掘調査によりの石垣が確認されているほか、石垣裏の土塁についても平成 24 年度の県庁舎耐震化等整備事業に伴う発掘調査等で確認されている。



区画石垣

楽屋曲輪南側の石垣については、平成 22・23 年度に実施した県庁舎耐震化等整備事業(山梨県防災新館建設)に伴う発掘調査で確認され、築城期の野面積み石垣の上部を江戸時代中期に切石積み

で改修されている状況もみられる。また、石垣の解体移設した際に、版築の造成地盤面が確認できた。裏鬼門に位置する本地

点からは、線刻された築石が 28 石認められたが、破壊された築石の存在を考えると相当量の存在が窺い知れる。根石部分からは岩着の場合はそのまま積み上げ、脆弱地盤面には敷石の造成地盤上に赤松材を胴木として用いた状況が確認でき、鉄道の枕木と同様の手法が確認できた。胴木には臍が施され、縄を通して引いてきた様子が窺える。堀底に埋まった状態で流木も認められたため、自然河川を堀に転用した可能性もある。流木の中には、標高の高い場所で見られるツガが含まれていたことが興味深い。

平成 30 年度に楽屋曲輪東側で実施した甲府城周辺地域活性化実施計画に伴う確認調査では、築城期の野面積み石垣の根石と胴木、石垣前面に設置された腰石垣を確認した。

(13) 花畑

【概要】

- ・内城北東端の曲輪。
- ・宝永3年(1706)に柳沢氏が新たに造営した曲輪。
- ・花畑曲輪北門や番所等があり、曲輪内は畑として利用されていた。

【調査経過】

平成16年度に区画整理事業に伴う試掘調査が実施しているが、後世の攪乱を受け、遺構の残存は確認されていない。

(14) 内堀

【概要】

- ・南堀の北側には築城期の石垣および地震崩落痕跡が残る。
- ・曲輪西から北西にかけては、堀が埋設保存されている。

【調査経過】

平成3年(1991)、平成6年(1994)、平成10年(1998)、平成11年(1999)、平成28年(2016)～平成30年(2018)に調査が行われた。

【検出遺構】

堀跡・堀のノリ面等を検出した。

稲荷曲輪北堀

平成3年(1991)に稲荷櫓台東・平成6年(1994)に稲荷曲輪北石垣下の発掘調査を実施し、部分的であるが堀跡を検出し、規模を確認した。

稲荷曲輪・数寄屋曲輪東堀

平成11年(1999)の発掘調査の結果、堀跡を検出した。

鍛冶曲輪南堀

平成3年(1991)・平成11年(1999)に調査をおこない、平成11年(1999)に堀のノリ面を検出した。

楽屋曲輪東堀

平成25年度に甲府駅南口地域修景計画事業に伴い行った確認調査により、内堀の立ち上がり(外側)に杭列が確認されたほか、平成30年度の甲府城周辺地域活性化実施計画に伴う確認調査により堀底を検出した。

楽屋曲輪西堀

甲府駅南口周辺地域修景計画に基づく主要地方道甲府韮崎線再整備事業に伴い平成28・29年度に実施した立会調査により、内堀城外側の立ち上りを検出した。

屋形曲輪西堀

平成28年度に甲府駅南口周辺地域修景計画に基づく主要地方道甲府韮崎線再整備事業に伴い実施した立会調査により、内堀の覆土層を確認した。

●山手門北堀

平成10年度に甲府駅周辺新都市拠点整備事業に伴い山手門北側の試掘調査を実施し、内堀城外側の石垣を検出した。



鍛冶曲輪内堀



屋形曲輪内堀

(15) 愛宕山石切場

【概要】

- ・甲府城跡の北東に接する愛宕山の山裾に位置する。
- ・江戸期の絵図では石取場と表記されている。

【調査経過】

平成19年(2007)に調査が行われた。

【検出遺構】

平成19年度に法務省甲府地方裁判所所長庁舎解体事業に伴い試掘調査を行ったが、湧水のため、限定的な成果にとどまった。採石地点は現在、池となっており、周囲の地盤は割りガラで地盤が形成されていることから、現地で加工も行っていただようである。加工石材の確認調査では、江戸期の約二寸(5~6cm)の幅の矢穴が入った石材や大正時代以降のルートハンマーの痕跡が確認されるなど、継続的に採石が行われていたことが窺えた。指定地周辺からも矢穴が残る残石も存在しており、広域に採石されていた可能性がある。



矢穴のみられる安山岩

(16) 甲府城下町

【概要】

甲府城下町は、東西約1.7キロメートル、南北約2.5キロメートルにわたる。甲府城下町遺跡の発掘調査では、各所で古墳時代から平安時代の遺物が見られること等から、微高地上に当該時期の集落跡が点々と営まれていたことを知ることができる。平安時代以降の土地利用は不明瞭でよくわからないが、戦国期に成立した武田城下町の南と一部重なるように立地する。

城下町の構造は内堀で囲まれた内城を中心に、その周囲を武家地が取り囲み、武家地の北側と東側には町人地が、また北側に寺社地が位置する。武家地は二の堀に、町人地、寺社地は三の堀によってそれぞれ取り囲まれる。甲府城の内城からは、北側の山手門、西側の柳門、南側の大手門で内郭に通じ、さらに内郭から外郭へは15口の見附で通じる構造となっている。こうした城下町の具体的な様相は、近年の発掘調査により明らかになりつつ

あるが、発掘調査成果は18世紀初頭の柳沢領有期のものが中心となっており、それ以前の様相は部分的に調査されているもののその成り立ちや変遷については断片的である。

【武家地】

18世紀初頭の柳沢氏領有期の甲府城と城下の様相を描いた絵図である『楽只堂年録』によれば、内城へ通じる門前にはそれぞれ、筆頭家老の広大な屋敷地が描かれている。このうち現在のJR甲府駅西側の線路を挟んだ一帯の地域、柳門前には筆頭家老である柳沢権太夫の屋敷など広大な重臣屋敷が位置していたことがわかる。さらに享保12（1724）年以降、幕末までは、山手御役宅が存在し、周辺には勤番士の屋敷が設けられた。

当地における山梨県埋蔵文化財センターが調査を行った駅前駐輪場地点では、柳沢期の家老柳沢権太夫屋敷に関連する大型建物跡を確認した。大型建物跡は全体像を把握することはできなかったものの東西19.7m、南北2.0m以上の規模であり、柱穴には根石が敷き詰められ、一部には柱痕が残存する。規模からおおよそ8～9寸角の角柱が使用されていたことがうかがわれる。また同調査区では柳沢期に先行すると思われるゴミ廃棄土坑が確認された。柳沢期以前の甲府城下町に関わる資料は多くはないため、城下町の成り立ちを考える上での好資料である。

一方、甲府市教育委員会が行った発掘調査では、柳沢権太夫屋敷地の一部及びその周辺地域の調査を行い、中世から近代に至る柱穴・井戸のほか屋敷境と推定される溝跡や築地塀跡、石積側溝をともなう御先手小路を確認している。城下主要街路の検出は稀有な事例であり、出土遺物は下駄・漆椀など木製品や陶磁器・瓦・玩具などの生活用品から鍋島焼・オランダ陶器などの高級陶磁器が出土する。当時の暮らしぶりを示す実像や屋敷主を推定する出土品が得られた。

さらに大手門南方では、甲府市教育委員会が行った甲府市役所庁舎建設に伴う発掘調査において、柳沢期の城代である平岡将監屋敷地の一部及びその後の柳沢氏の大和郡山移封により置かれた大手役宅が明らかとなった。調査では平岡将監屋敷地の庭や井戸等が検出されており、このうち庭状遺構では瓢箪形の池が検出された。池の中には中島が作られており、池の括れ部分には橋がかけられ、橋へのアプローチとして飛び石が、さらにその先には小石が敷き詰められるなど、当時の上級武家クラスの屋敷地の具体的な様相が明らかとなった。また庭園の泉水や井戸からはマガキ・ハマグリ・アワビ・サザエなど高級食材や建築部材・羽子板・下駄・曲物・柄杓・漆器など多様な木製品が出土している。内陸にあっても高級海産物を消費している上級武家屋敷の食生活の豊かさが明らかとなった。さらに大手役宅に係る上水を引き込む溝、井戸、土間とカマド、塀の礎石列などを検出している。

またその他武家地の調査のうち、甲府市教育委員会が行った北口二丁目地内での数地点に及ぶ調査からは、中世から近代に至る多数の遺構が検出され、戦国期の金細工などの職人町が、近世には武家地へと変わり、さらに近代には製糸工場へと変遷していることが判明した。検出した多くの溝跡は屋敷境界を示し、近世に限っても数時期の変遷が明らかであり、城下整備の状況を反映している。遺物は、職人工房で金ないし銅を溶解するため坩堝として使用された土器片や陶磁器・木製品・漆器など武家屋敷での生活用品がある。

また山梨県埋蔵文化財センターが行った甲府駅北口県有地地点や日向町遺跡第2地点、甲府駅周辺土地区画整理事業地内43街区地点、甲府地方裁判所地点において、18世紀初頭の柳

沢期の武家の暮らしぶりが明らかとなるような資料が得られている。このうち甲府駅北口県有地地点は二の堀に近接し、調査では城下町の街路区画に平行及び直行する溝状遺構が検出され、屋敷地を区画する塀や生け垣に沿って位置したものと考えられる。柳沢期の「甲府御城絵図」によれば当該時期には柳沢吉保家臣御寄合「根津文左衛門」が、また幕末の「懷宝甲府絵図」では「中島・鳶田・カモミヤ」の屋敷地及び空閑地が描かれる。また甲府駅周辺土地区画整理事業地内43街区地点は筆頭家老柳沢権太夫屋敷地の西側に位置し、「甲府御城下絵図」では柳沢家臣で御大目付の「平尾平蔵」と御郡奉行の「杉山平丸朗」の屋敷地であったことがわかる。これらの屋敷地からは土瓶や急須などの喫茶用具、猪口や湯飲み、皿、茶碗などの食膳用具、播り鉢などの調理用具などの生活に関わる多種多様な遺物の出土が見られ、当時の武家の暮らしの一端が明らかとなった。

【町人地】

一方町人地の調査事例では、甲府市教育委員会が行った「古府中環状浅原橋線」街路事業に伴う一連の発掘調査がある。甲州街道に面して商家が立ち並んでいた甲府市街地の中心部、柳町地内での調査からは寛永13年（1636）に宿場町となる以前、金属精錬の鍛冶工房であり、その後、江戸中期から明治期にかけて旅籠が営まれていたことが判明した。科学分析により金属溶融物が付着した土器は金・銅加工に使用されたものや銀の精錬法である灰吹き法に利用されたものと推定され、装飾鍍金工房の存在が推測されている。旅籠に係る遺構は、礎石建物のほか陶磁器・木製品とともに動物遺体や果実の種子を廃棄した土坑が多数出土する。動物遺体は、ニワトリやマグロ・サメ類などの大形魚、ハマグリ・サザエ・アワビ・アサリ・ヤマトシジミなどの貝類に同定され、旅籠でのもてなしの一端が明らかとなった。更に江戸初期にまで遡る遺構からも海産貝類が出土しており甲府城下への早い段階からの海産物移入を裏付ける資料となる。

また同地域で行った山梨県埋蔵文化財センターの発掘調査でも、17世紀代の灰吹き法による金の精錬に係る遺物が出土している。甲斐の地方貨幣である甲州金は、戦国期からその存在が知られているが、江戸期に入ってから松木家が製造を独占して甲州金座を担った。松木家は『寛永諸家系図伝』あるいは「甲府町年寄山本家由緒」などによると甲府柳町に屋敷地を拝領し、金座を営んでいたとされるが、具体的な場所は明らかではない。甲府市教育委員会及び山梨県埋蔵文化財センターの同地点の調査では、いずれも柳町に該当することや金の精製にかかる遺構や遺物が出土していることから、この地が甲州金座の一部であったと考えられる。

【寺社地】

寺社地では、甲府市教育委員会が行った元柳町に位置する旧尊躰寺の調査では、寺院の庫裏や池跡、墓坑群が発見された。近世では、尊躰寺は現在の城東に移転しているが、御朱印地として残り、増山町が成立するまでは故地として残っていた。近世の遺物は、幕末に比定される仏飯器などが出土している。

新府中での寺社地の発掘調査事例としては、百石町に位置する竜華院と西青沼町の境界を調査している。調査では、町屋と寺域を区画する溝を2条確認しており、町屋が発展するにつれて寺域が狭まっていることが確認されている。

【二の堀と上水】

二の堀に関しては、地形及び古絵図から上下西側の相川から取水する二の堀は、当初

から河川流路を利用して二の堀が構築された可能性が示唆され、現状も一級河川の濁川として機能している。また城下町東側の土手小路沿いの二の堀に関しても、周辺の調査で砂礫層の自然堆積層が見られることから、自然流路を利用して二の堀が構築された可能性が考えられる。

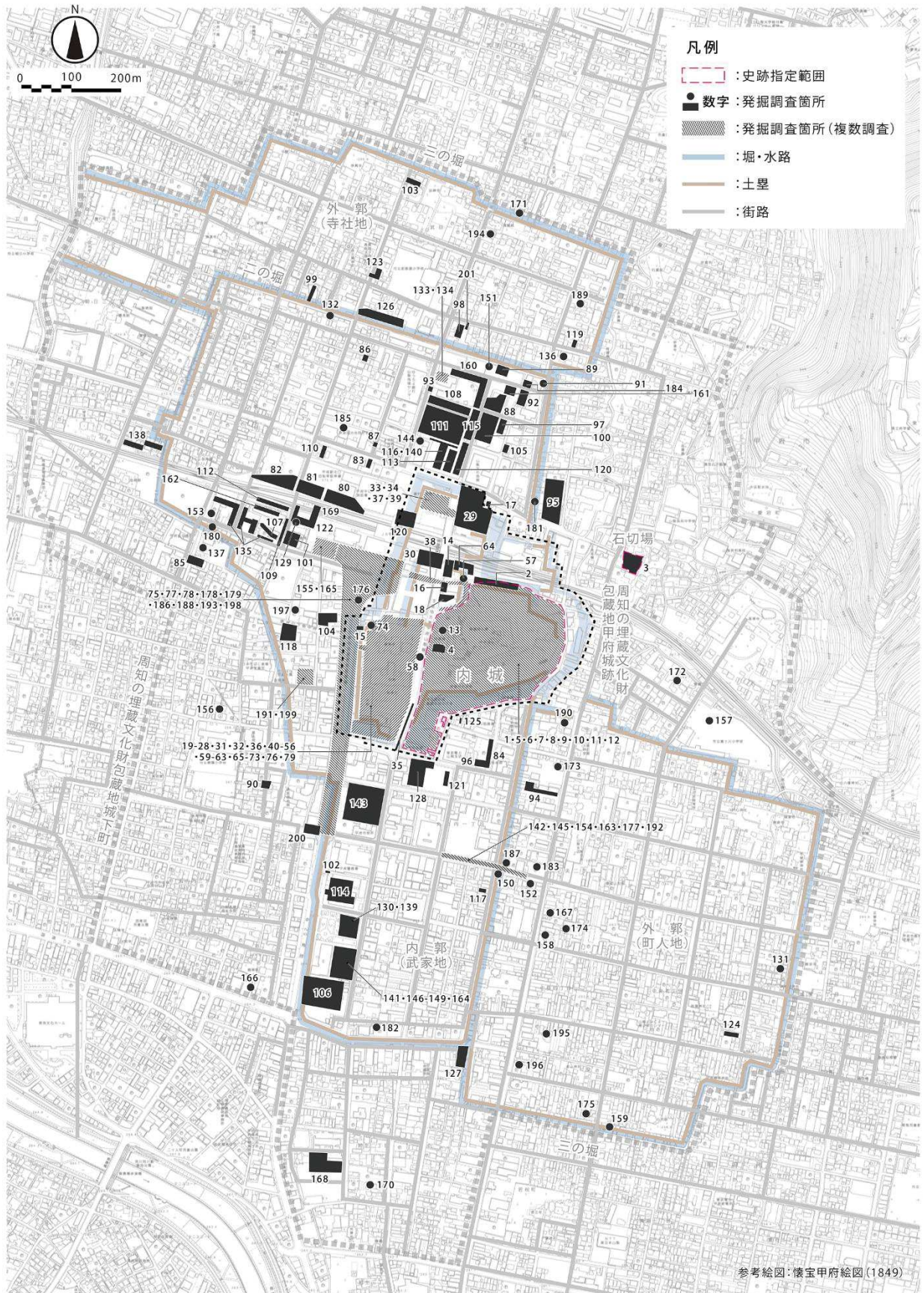
二の堀の発掘調査は甲府市教育委員会により数地点で行われている。特に平和通り沿いの中央一丁目の武家地の調査では、堀上部は幅約13m、深さ約4mの素掘りの堀が検出された。堀に伴い武家屋敷側には約13mの土塁跡、さらに土塁の際には暗渠が検出された。甲府城北側で検出された二の堀に関しても、幅約14mの素掘りの堀が確認されている。

また山梨県埋蔵文化財センターが行った青沼町口付近に位置する公用車等駐車場地点では、調査区西側で二の堀への排水施設である集水升が出土した。城下町の公共インフラの一端が伺われる資料である。

甲府城下町の特徴の一つとして、城下町の南側である新府中においては18世紀以降、上水が整備されていたことは甲府市教育委員会が調査した集会所建設工事地点の発掘調査事例などからわかっている。一方城の北側では井戸による給水が通常であり、城下町全体の井戸の分布を見ると圧倒的に北側に多い。

【三の堀】

三の堀の発掘調査事例としては、甲府市教育委員会が行った真言宗満蔵院北側地点で、三の堀の南側肩を検出している。この堀跡の南では、近世段階の生活面が確認されず、満蔵院の遺構と推定される中世時期の溝やピットが見つかっており、境内地の直上に土塁を築いたことが裏付けられる。



史跡・内城内・周辺発掘調査位置図

※图中番号は発掘調査一覧表に対応

表 発掘調査一覧

※区分：試（試掘）、確（確認調査）、立（立合）、本（本掘）

No.	遺跡名	所在地	調査年度	調査名 (調査原因)	調査面積 (㎡)	区分	歴史的位 置	検出遺構	検出遺物	検出深度 (包含層/遺構)	報告書 等
1	県指定史跡甲府城跡 丸の内1	丸の内1	H2~ H16	史跡整備事業		本	本丸・二の丸・人質曲輪・稲荷櫓・数寄屋曲輪・鍛冶曲輪	石垣・建物跡・石切場・井戸など	金箔瓦(鯉・鬼・筋・軒)・陶磁器・輪宝・一分金など		13
2	甲府城跡(内堀)	丸の内1-4	H17	市道の付け替え	9 (600)	試	内堀(御花畑の南)	堀底・安山岩の岩盤	瓦	GL-1.6m	14
3	甲府城下町遺跡	愛宕町85-1	H19	裁判所長官舎撤去工事	2285	試	石切場	石切場(2寸矢穴)	陶磁器(表採資料)		22
4	県指定史跡甲府城跡	丸の内1-5	H19	議員会館撤去工事	440	立	二の丸西側の石垣周辺	暗渠(寛文年間以降)・瓦溜	瓦	GL-0.2m(石垣)	V.Y
5	県指定史跡 甲府城跡 (一の堀)	丸の内1	2010	鉄門復元整備事業		本	鉄門	礎石・排水溝	-		22.5
6	甲府城跡 (一の堀)	丸の内1-9	2012	甲府駅南口周辺地域修景計画	36	確	一の堀(追手門東)	一の堀覆土	-	GL-2.2m	35.44
7	甲府城跡 (一の堀)	丸の内1	2013	甲府駅南口周辺地域修景計画 事業(甲府城周辺再整備)	50	確	一の堀(追手門東)	一の堀覆土・堀底・護岸杭列	瓦・陶磁器 他	GL-1.2m	51
8	県指定史跡 甲府城跡	丸の内1	2016	舞鶴城公園整備事業(木柵改修工事)	70	立	天守台/本丸/帯曲輪・天守曲輪	-	-		70.71
9	甲府城跡 (一の堀・柴屋曲輪)	丸の内1-9-1 他	2018	甲府城周辺地域活性化実地計画	396	確	一の堀/柴屋曲輪西側石垣	一の堀：覆土・堀底 柴屋曲輪西側石垣：石垣・裏栗層・桐木・腰石垣・造成層	瓦・陶磁器・木製品 他	GL-0.5~1.0m	80.82
10	県指定史跡 甲府城跡	丸の内1-5	2018	舞鶴城公園内屋根付ベンチ設置工事	1	試	稲荷曲輪	-	瓦		79.80
11	国指定史跡 甲府城跡	丸の内1-49・636	2019	四ツ目埋設置工事	7	試	本丸/稲荷櫓東	本丸：安山岩群	瓦	本丸：GL-0.5~0.8m	83
12	国指定史跡 甲府城跡	丸の内1-49・636	2019	四ツ目埋設置工事	6	立	本丸/稲荷櫓東	-	瓦		
13	国指定史跡 甲府城跡	丸の内1-49	2019	武徳殿改修工事	0.66	立	二の丸	-	瓦		
14	甲府城跡(屋形曲輪)	丸の内1-1	H9	駐輪場建設	120 (640.10)	試	屋形曲輪及び曲輪北側部分の堀と土塁	屋形曲輪の堀	陶磁器・瓦・木製品	GL-0.6m	20(9)
15	甲府城跡(内堀)	丸の内1-7-1	H9	店舗建設	48.6 (126.42)	試	柳門南の内堀	内堀・石垣	瓦	GL-2.5m	20(8)
16	甲府城跡	丸の内1-4-18	H9	ホテル増築	42 (269.79)	試	屋形曲輪殿舎北東側の空閑地(業只堂年録)	-	陶磁器・瓦		20(7)
17	甲府城跡	北口2-3-5	H9	店舗兼住宅建設	48	試	山手門土橋及び堀	山手門土橋の石垣	-		20(一覽)

18	甲府城跡 (屋形曲輪)	丸の内1-4	H10	駐輪場建設	66 (521.88)	試	屋形曲輪 (内松陰門北)	大規模瓦溜・苑池状遺構・柱穴 (径40cm)	築城期の瓦 (遠い鷹羽等)・瀬戸製霰鉢・焼塩壺	20(26)
19	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H13	通信線埋設	-	立	柳門東側にあった番所北付近	石組の溝 (水路か雨受け)・石垣	瓦 GL-0.85m	14
20	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H13	オイルタンク設置	15	立	柴屋曲輪内の一の堀に面した土塁東傾斜部分	石垣・石組の溝	近世以降の染付・磁器・ガラス瓶・瓦	6
21	甲府城跡 (柴屋御殿)	丸の内1-6-1	H13	給排水管の埋設	-	立	柴屋曲輪内の柴屋御殿	御殿に係る石列	瓦 GL-0.5m	14
22	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H14	光ファイバー情報管設置	78	立	柴屋曲輪西側の土塁 (柴屋御殿北西部)	石垣・石組の溝・江戸時代の土器	瓦 GL-0.3m (土塁) GL-0.5~0.6m (石垣)	8
23	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H14	ガス管理設	-	立	柴屋曲輪内の追手門周辺	石垣	瓦 GL-0.6m	14
24	甲府城跡 (柳門)	丸の内1-6-1	H15	公用車駐車場建設	437.7	試	柳門周辺	石垣・石段	奈良・平安時代の土器・近世の瓦	11
25	甲府城跡 (内堀)	丸の内1-6-1	H15	光ファイバー情報管設置	20	立	柳門南西部の一の堀に面した石垣	石垣 (西向き)	瓦 GL-0.6m	11
26	甲府城跡	丸の内1-8-5	H15	光ファイバー情報管設置	-	立	内堀付近 (外側)	安山岩の岩盤	瓦 GL-0.05m	11
27	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H16	水道管理設	-	立	二の丸西側の石垣周辺	安山岩の岩盤	瓦 GL-0.3m	14
28	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H16	情報管理設	-	立	二の丸西側の石垣周辺	安山岩の岩盤	瓦 GL-0.3m	14
29	甲府城跡 (30街区) 清水曲輪	北口2-2、2-3	H17	歴史公園整備に伴う石垣調査	165 (6039)	試	山手御門	石垣・山手門土橋・桐木	瓦・陶磁器・漆喰片	26 (17-4)
30	甲府城跡	丸の内1-1	H17	JR東日本総合事務所建設	300	本	屋形曲輪 (堀・土塁)	古墳：溝1基/近世：堀跡・溝3・ピット5	土師器・陶磁器・瓦	26 (17-7)
31	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H17	情報管理設	-	立	柳門東側にあった番所北東部の石垣	石垣の入隅部	瓦 GL-1.0m	14
32	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	H17	情報管理設	-	立	柴屋曲輪御殿の北東縁	岩盤	瓦 GL-1.0m	14
33	甲府城跡	丸の内1	H18	甲府駅周辺土地区画整理事業	425	本	内堀・土塁 (清水曲輪)	清水曲輪石垣・内堀	土器・陶器	26 (18-2)
34	甲府城跡	北口2-1	H19	甲府駅周辺土地区画整理事業	280	本	清水曲輪 (乾櫓・書院)	乾櫓台石垣・瓦溜・柱穴列2・土坑14・ピット41・溝3	陶磁器・土器・瓦	24, 26 (19-2)
35	甲府城跡	丸の内1-6、8、9	H19	水道管理設工事	710	立	追手門・柴屋曲輪番所	礎石：桁形虎口北側石垣・裏栗層・内堀石垣	敷石 (2寸矢穴)・礎石・木杭	22
36	甲府城跡	丸の内1-6-1	H19	仮設電柱の設置	2	立	一の堀 (柳門の南)	石垣 (西向き)	- GL-1.15m (石垣)	22

55	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2011	県議事堂改修構築整 備(給水管敷設)事業	40	立	柴屋曲輪御殿	暗渠・瓦溜	瓦	6L-0.5m	37.38
56	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2011	県庁舎耐震化等整備事業 (山梨県防災新館建設)	130	本	柴屋曲輪南側石垣・番 所・追手橋周辺・一の 堀	暗渠・一の堀 南側石垣：石垣・裏栗 層・桐木 追手橋周辺：石垣・裏栗 層	瓦・陶磁器・金属製品・ 銭貨 他	6L-0.5~1m (暗 渠) 6L-1m (追手橋周辺 石垣)	36.38
57	甲府城跡	丸の内1	2012	舞鶴南立ち上げ管路復 活工事事業	5	立	屋形曲輪	—	—	—	45.50
58	甲府城跡 (二の丸)	丸の内1-6-1地先	2012	県道甲府山梨線整備事業	6	立	内松陰門周辺/二の丸西 側土塁	—	—	—	43.45
59	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1他	2012	県庁舎耐震化等整備事業	11	立	一の堀(追手門南)/柴 屋曲輪御殿	追手門南：一の堀覆土	石臼、瓦	6L-1.9m (追手門南 堀覆土)	43.45、6 7
60	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2012	県庁舎耐震化等整備事業 (駐輪場建設)	400	本	柴屋曲輪西側土塁	土塁・石組水路	瓦・陶磁器	6L-0.5m	45.49
61	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2012	県庁舎耐震化等整備事業 (県議会議事堂委員会室 棟改築)	136	本	柴屋曲輪長屋	石組水路2・溝状遺構 1・土坑1・瓦溜	瓦・陶磁器 他	6L-0.5m	45.67
62	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1他	2013	県庁舎耐震化等整備事業	—	立	一の堀(追手門東)/柴 屋曲輪西側土塁/柳門	柴屋曲輪御殿：礎石 柳門：水路	瓦・陶磁器 他	—	50.51、6 7
63	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2013	県庁舎耐震化等整備事業 (県議会議事堂委員会室 棟改築)	160	本	柴屋曲輪温泉	温泉関連遺構・水路	瓦・陶磁器 他	6L-1.0m	51.67
64	甲府城跡	丸の内1-563-6他	2014	甲府駅南口駐輪場建設	572.00	本	屋形曲輪北側堀 明治30年代以降/甲府 駅構内	堀跡・瓦溜まり・石列2	土器・陶磁器・瓦・石製 品・金属製品・木製品・ 土製品・動物遺体	6L-0.5m	63
65	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2014	県庁舎耐震化等整備事業 (県議会議事堂委員会室 棟改築)	15	確	柴屋曲輪温泉	水路	瓦・陶磁器 他	6L-0.90m	56.57
66	甲府城跡 (一の堀・二の丸・ 柴屋曲輪・清水曲 輪・屋形曲輪)	丸の内1-6-1	2014	県庁舎耐震化等整備事業	—	立	一の堀/二の丸南西石垣 /追手門/柳門/柴屋曲輪 御殿・長屋・柴屋/屋形 曲輪南側石垣/内堀	二の丸：石垣根石か 追手門：石垣・裏栗層・石 柳門：石垣・裏栗層・石 列 柴屋曲輪御殿：礎石・石 列 温泉関連遺構・水路	瓦・陶磁器 他	—	56.57
67	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2014	県庁舎耐震化等整備事業 (県議会議事堂委員会室 棟改築)	300	本	柴屋曲輪温泉	温泉関連遺構・水路	瓦・陶磁器 他	6L-1.0m	56.57
68	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2014	県庁舎耐震化等整備事業 (別館改修工事 本館-別 館渡り廊下建設)	100	本	柴屋曲輪御殿	造成土	瓦	6L-1.0m	56.57
69	甲府城跡 (柴屋曲輪・清水曲 輪・屋形曲輪)	丸の内1-6-1	2014	県庁舎耐震化等整備事業 (県庁構内一工区外構整 備工事)	74	確	柳門/二の丸丸見櫓北石 垣/中仕切門/屋形門/屋 形曲輪南側石垣/内堀	柳門：石垣・裏栗層・階 段 二の丸丸見櫓北石垣：根 石痕跡 中仕切門：石垣・裏栗層 屋形曲輪南側石垣：裏栗 層・土塁	瓦	6L-0.4~0.9m	56.57
70	甲府城跡 (一の堀・二の丸・ 柴屋曲輪・屋形曲 輪)	丸の内1-6-1	2015	県庁舎耐震化等整備事業	—	立	一の堀/二の丸南西石垣 /追手門/柳門/柴屋曲輪 御殿・長屋・柴屋・西 側石垣/屋形曲輪南側石 垣	追手門：石垣・裏栗層・ 礎石 柳門：石垣 柴屋曲輪御殿：礎石・石 列・水路 柴屋曲輪西側石垣：土塁	瓦・陶磁器 他	—	66.67

71	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2015	県庁舎耐震化等整備事業 (県庁構内二工区外構整 備工事)	50	本	追手門/柴屋曲輪追手門 北石垣	追手門：礎石 追手門北石垣：石垣・裏 栗層 石垣・裏栗層・水路 石垣・裏栗層	瓦 他	GL-0.3m	66.67
72	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2015	県庁舎耐震化等整備事業 (水景施設建設工事)	390	本	柴屋曲輪内区画石垣	石垣・裏栗層・水路	瓦・陶磁器 他	GL-0.3~0.8m	66.67
73	甲府城跡 (柴屋曲輪)	丸の内1-6-1	2015	県庁舎耐震化等整備事業 (県庁構内二工区外構整 備工事)	10	本	柴屋曲輪西側石垣	石垣・裏栗層	瓦 他		66.67
74	甲府城跡	丸の内1-89-1	2015	店舗建設	30.00	試	柳門	石垣・門礎石	陶磁器・瓦	GL-0.3m	76
75	甲府城跡 甲府城下町遺跡	丸の内1-2-14他	2016	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場・平和通り)		確・立	一の堀/二の堀武家屋敷 地(城代家老柳沢権太 夫保格 他)	一の堀・井戸・土坑・ ピット 他	瓦・陶磁器・土器		71.78
76	甲府城跡 (一の堀・清水曲 輪)	丸の内1-6-1	2016	県庁舎北別館非常用発電 機燃料タンク設置工事	13	立	一の堀/清水曲輪南西石 垣	-	-		70.71
77	甲府城跡 甲府城下町遺跡	丸の内1-1-9他	2017	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場・平和通り)		立	一の堀/二の堀武家屋敷 地(城代家老柳沢権太 夫保格/馬場 他)	一の堀：立ち上がり・石 列 武家屋敷：建物跡・井戸	瓦・陶磁器・土器 他		75.78
78	甲府城跡 甲府城下町遺跡	丸の内1-1-9他	2018	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場・平和通り)		立	二の堀/二の堀武家屋敷 地/百石町武家屋敷地	二の堀：石垣(近代) 百石町：水路・水成遺構	瓦・陶磁器・土器 他		71.80
79	甲府城跡 (屋形曲輪)	丸の内1-6-1	2018	県庁舎北別館受水槽改修 工事	16	試	屋形曲輪南東側番所西	水路	-	GL-0.6m	79.80
80	甲府城関係遺跡A区	丸の内1-1	H7	消防署建設	1850	本	二の堀武家屋敷地(城 代家老柳沢権太夫保 格・荻沢源太右衛門/山 手動番士役宅)	井戸・溝・柵列・ピツ ト・溜池	陶磁器・土製品・石製 品・木製品(漆など)・ 瓦・金属製品(古銭・煙 管など)		1.12(24)
81	甲府城関係遺跡B区	丸の内1-1	H7	ホテル建設	2480	本	二の堀武家屋敷地(城 代家老柳沢権太夫保 格・荻沢源太右衛門/山 手動番士役宅)	御先小路跡と石積のあ る削溝・埋溝・井戸・溜 池・石列・杭列・溝・墓	陶磁器・焼き塩壺・瓦 (花菱)・土製品・石製 品・煙管・古銭		1
82	甲府城関係遺跡B西 区	丸の内1-1-17	H7	ホテル建設	2000	本	二の堀武家屋敷地(御 先小路と裏手小路の 間)	溝・井戸・穴蔵	陶磁器		1
83	甲府城下町遺跡	北口1-1	H8	甲府駅周辺区画整理事業		試	二の堀武家屋敷地(柳 沢権太右衛門/山手動 番士役宅)	土坑墓・集石			16(一覽 17)
84	甲府城下町遺跡	丸の内1-13	H10	道路建設	70 (638)	試	二の堀武家屋敷地(追 手隔廻り/柳沢期：近藤 図書・平野源左衛門/動 番：大河内・間宮)	溝5・ピット6・土坑 1・建物跡	土師器・陶磁器・木製 品・鉄製品(釘・楔)		20(32)
85	甲府城下町遺跡	丸の内2-9-18	H10	個人住宅建築	8 (745.74)	試	二の堀町人地(相川 町)	井戸・溝・屋敷境の間知 石積み	陶磁器・鉄製品(煙管)	GL-0.6m(溝)	20(30)

86	甲府城下町遺跡	北口1-6-12	H10	個人住宅建築	4 (263.03)	試	二の堀武家屋敷地 (御先手小路)	土坑2	瀬戸美濃系陶器・土器	GL-0.2m (包含層) GL-0.6m (土坑)	20(27)
87	甲府城下町遺跡	北口1-4-2	H10	個人住宅建築	8 (116.89)	試	武家屋敷 (桜小路)	溝 (時期不明)	土師器・陶器	GL-1.2m (溝)	20(29)
88	甲府市城下町遺跡I (桜シルク) A区	北口2-15-26	H11	店舗駐車施設の建設	750	本	二の堀武家屋敷地 (森下小路)	井戸11・溝28・建物跡 1・埋桶13・土坑26・石 積遺構・暗渠・ピット 727	大量の肥前系磁器と瀬戸 系陶器・瓦・煙管・釘・ 銭貨・土製品・箸・曲 物・下駄	GL-0.45m (近世) GL-0.6m (中世)	4
89	甲府市城下町遺跡I (桜シルク) B区	北口2-15	H11	店舗駐車施設の建設	150	本	二の堀・土塁	中世：溝9・井戸2・土 坑2・ピット78/近世：二 の堀・土塁底部部・井戸 1	土器・陶器・五輪塔・銭 貨・曲物	GL-0.3m (近世) GL-0.7m (中世)	4
90	甲府城下町遺跡	丸の内2-32-18	H11	個人住宅建築	10 (160.83)	試	百石町の小路に面した 武家屋敷地 (柳沢期： 関文右衛門)	礎石と柱跡 (屋敷門 跡?)・ピット3・坑 1	五領期の壺・平安期の羽 釜・近世の陶磁器と瓦	GL-0.5m (近世) GL-1.05m (弥生)	21(11- 21)
91	甲府城下町遺跡	北口2-14-5	H11	店舗兼住宅建設	42 (263.03)	試	二の堀・土塁・二の堀沿 いの小路	中世：石組の溝1・ピッ ト・建物跡・土坑3/近 世：溝3・ピット	中世：人骨・銭貨・かわ らけ (金付着)・陶器/ 近世：陶磁器	GL-0.2m	21(11- 19)
92	甲府城下町遺跡 (日向町第1地点)	北口2-14	H11	北口公用車庫建設	480	本	二の堀武家屋敷地 (森下小路)	墓 (江戸の可能性)・溝 (時期不明)	古銭 (寛永通宝)・陶磁 器	GL-0.4m	2,3
93	甲府城下町遺跡	北口2-15-1	H11	事務所建設	19 (142.92)	試	二の堀武家屋敷地 (橋 小路と森下小路が交差 する北東隅)	近世：礎石2・井戸	陶磁器 (漆桶2)・木製 品/かわらけ	GL-0.6m (近世) GL-0.8m (中世)	21(11- 23)
94	甲府城下町遺跡	中央2-9-5他	H11	個人住宅建築	10 (759.35)	試	三の堀町人地 (堅近習町小路)	井戸1	陶磁器・棧瓦	GL-0.6m (19世紀の包含層)	21(11- 22)
95	甲府城下町遺跡	北口3-4	H11 H17	複合高層ビル建設	H11: 380 H17: 45 (3631)	試	二の堀と納戸小路の間 (柳沢期初：御樹木畑/ 以後は武家屋敷)	近世：溝4・土坑4・井 戸2・池跡・石列1 明治期：溜井3・井戸1	土器・古銭		21(11- 26)
96	甲府城下町遺跡	丸の内1-13-9	H12	店舗建設	189 (1383.41)	試	二の堀武家屋敷地 (追 手脇廻り/柳沢期：近藤 凶書・平野源左衛門/勤 番：大河内・間宮)	溝8・土坑6・井戸1・水 溜遺構1・ピット67	かわらけ・陶磁器・金属 製品・銭貨・木製品		21(12- 14)
97	甲府城下町遺跡	北口2-11	H12	区画整理事業・個人住宅 建設	198 (482)	試	二の堀武家屋敷地 (森下小路)		陶磁器・かわらけ・金属 製品		21(12- 13)
98	甲府城下町遺跡II	武田2-1-17	H12	マンション建設	650	本	三の堀町人地 (新紺屋 町)	溝・土坑・井戸・柱穴・ 建物跡・埋桶	瀬戸美濃系陶器・青磁・ 白磁・木製品		7

97	甲府城下町遺跡	北口2-11	H12	区画整理事業・個人住宅建設	198 (482)	試	二の堀武家屋敷地 (森下小路)	溝8・土坑6・井戸1・水溜遺構1・ピット67	陶磁器・かわらけ・金屬製品	21(12-13)
98	甲府城下町遺跡Ⅱ	武田2-1-17	H12	マンション建設	650	本	三の堀町人地(新紺屋町)	溝・土坑・井戸・柱穴・建物跡・埋構	瀬戸美濃系陶器・青磁・白磁・木製品	7
99	甲府城下町遺跡	朝日4-2-23他	H12	集合住宅建設	72 (1302.65)	試	三の堀町人地の新紺屋町 (南：二の堀/東：立町口)	中世：井戸1・溝1/近世：溝4	陶磁器・ガラス製品	21(12-17)
100	甲府城下町遺跡 (日向町第2地点)	北口2-11	H13	北口駐車場建設	2400	本	二の堀武家屋敷地 (森下小路)	井戸・溝状遺構・石積溝・土坑・暗渠・ピット	陶磁器・土器・石製品・木製品・金屬製品	5, 6, 10
101	甲府城下町遺跡 (43街区)	丸の内1-1	H14	甲府駅周辺土地区画整理事業	1572	本	二の堀武家屋敷地 (馬場先小路)	土坑・井戸・溝・埋壘・集石・柱列	陶磁器・瓦・石製品・金屬製品・木製品	8, 9
102	甲府城下町遺跡	中央1-10-7	H14	甲府地方裁判所改築	36 (5631.66)	試	二の堀武家屋敷地 (追手小路)	配石状遺構・石列	陶磁器	8
103	甲府城下町遺跡	武田1-4	H15	裁判所長官舎建て替え工事	4.18 (334.5)	試	三の堀町人地(暈町)	-	陶磁器・瓦	11
104	甲府城下町遺跡	丸の内2-3	H16	ホテル建設	400	本	馬場・的場・普請方定小屋(柳沢期)・御米蔵(動番支配以後)	中世：井戸・溝・柱穴列・土坑/近世：馬場跡・石組の溝・石列・暗渠・掘建て柱跡・上水施設・井戸・土坑・埋壘	瓦・かわらけ・瀬戸美濃系陶器・肥前系磁器・鉛鉄砲玉・錢貨・木樋	16
105	甲府城下町遺跡	北口2-12	H17	貸し事務所建設	40 (195)	試	二の堀武家屋敷地(柳沢期：藪田五郎石衛門屋敷)	溝3(屋敷境溝)・井戸1・土坑	瓦・陶磁器・土器	16(一覧)・26(17-9)
106	甲府城下町遺跡	中央1-11	H17	集会所建設	2200	本	二の堀・土壘・二の堀武家屋敷地(西小路/追手小路)	二の堀・土壘・石敷きの溝・上水遺構・井戸・建物跡	木製品・陶磁器	26(17-1)
107	甲府城下町遺跡	丸の内1-1	H17	甲府駅周辺区画整理事業	200	本	二の堀武家屋敷地 (御先手小路)	溝3条・井戸2基	陶磁器	26(17-2)
108	甲府城下町遺跡	北口2-11	H17	甲府駅周辺区画整理事業	600	本	二の堀武家屋敷地 (森下小路)	溝1条・井戸1基・ピット100基	陶磁器・木製品	26(17-3)
109	甲府城下町遺跡	丸の内1-1	H17	甲府駅周辺区画整理事業	60	試	二の堀武家屋敷地 (御先手小路/城代家老柳沢権太夫保格)	溝4・ピット10・井戸1		26(17-6)
110	甲府城下町遺跡	北口1-1-4	H17	教会建設	20 (213.29)	試	二の堀武家屋敷地(御先手小路沿い/柳沢期：藪沢源太右衛門)	溝2・ピット2	土器・陶磁器	26(17-10)

111	甲府城下町遺跡 (北口県有地Ⅰ区)	北口2-11	H17 H18	北口県有地開発	5900	本	二の堀武家屋敷地(森下小路/吉保家臣御寄合「根津文左衛門」甲府御城下絵図)	中世：土坑墓・溝/近世：溝・土坑・井戸・埋桶・園地遺構	陶磁器・瓦・金属製品・木製品・ガラス製品	GL-0.2m (19世紀) GL-0.5m (江戸後) GL-0.8m (中世)	17.23
112	甲府城下町遺跡	丸の内1-1-3	2005	マンション建設	1,312	本	二の堀内武家屋敷地(先手小路～裏先手小路間)	建物跡4・竪穴遺構5・石列1・石敷遺構1・溝39・井戸2・土坑116・ピット5・瓦溜2・集石3・埋桶1・畝状遺構1・土器集積遺構1	かわらけ・土器・陶磁器・土製品・金属製品・石製品・木製品・瓦	GL-0.5m	73
113	甲府城下町遺跡 (北口県有地Ⅱ区)	北口2-8	H18	北口県有地開発	1100	本	二の堀武家屋敷地(森下小路/吉保家臣御寄合「根津文左衛門」甲府御城下絵図)	中世：土坑墓・溝/近世：溝・土坑・井戸・埋桶	陶磁器・瓦・金属製品・木製品・ガラス製品	GL-0.2m (19世紀) GL-0.5m (江戸後) GL-0.8m (中世)	17.23
114	甲府城下町遺跡 (甲府地方裁判所地点)	中央1-10-7	H18	甲府裁判所庁舎新営工事	510	本	二の堀武家屋敷地(西小路/追手小路：吉里家老の溝口平太左右衛門・御薬園)	古墳-平安：竪穴遺構構・ピット/近世：溝	土師器(坏・甕)・陶磁器	GL-0.5~0.6m (江戸) GL-0.8m (平安)	17.18
115	甲府城下町遺跡	北口2-11他	H18	甲府駅周辺土地区画整理事業	1156	本	二の堀武家屋敷地(森下小路)	井戸5・土坑58・ピット133・石列5・炉跡4・瓦溜-石組み遺構	陶磁器・銭貨・木製品・石製品		26(18-4)
116	甲府城下町遺跡	北口2-9	H18	甲府駅周辺土地区画整理事業	1176	本	二の堀武家屋敷地(山手小路)	井戸4・土坑33・ピット116・石列2・溝23・埋桶1・石敷遺構・竪穴遺構	陶磁器・銭貨・木製品・石製品・土製品		26(18-5)
117	甲府城下町遺跡	中央1-1-5	H18	店舗兼住宅建設	16.4 (115.87)	試	二の堀武家屋敷地(東小路/土手小路)	土坑・杭	土器・陶器	GL-0.6m	26(18-6)
118	甲府城下町遺跡	丸の内2-15-13他	H18	学習塾	31.5 (103.80)	試	馬場・約場・普請方定小屋(柳沢期)・御米蔵(勤番支配以後)	-	陶磁器		26(18-7)
119	甲府城下町遺跡	北口3-8-23	H18	個人住宅建築	2 (149.75)	試	三の堀町人の元城屋町(真：元城屋町口)	土坑	土器・陶磁器	GL-0.4m	26(18-8)
120	甲府城下町遺跡	北口2-180他・丸の内1-12-11	2006・2009	甲府駅周辺土地区画整理事業	2,965.00	本	清水曲輪西側の石垣 二の堀内武家屋敷地(柳沢期：数田五郎右衛門)	溝70・竪穴遺構4・土坑118・集石土坑1・ピット272・石列8・石組遺構1・石敷遺構1・井戸11・埋桶1・埋桶1・炉5	土器・陶磁器・瓦・土製品・木製品・石製品・金属製品・ガラス製品	GL-0.6m	39
121	甲府城下町遺跡	丸の内1-16	H19	店舗兼集合住宅建設	1566	本	追手門前の小路・下府中上水二の堀武家屋敷地(柳沢期) / 中殿町(勤番)	甲府上水遺構・井戸・土坑・溝10	土器・陶磁器・木製品	GL-0.6~1.5m	26(19-1)
122	甲府城下町遺跡	丸の内1-1	H19	甲府駅周辺土地区画整理事業	280	本	二の堀武家屋敷地(御先手小路/城代家老柳沢権太夫保裕)	井戸2・土坑6・ピット53・溝6	陶磁器・土器・瓦		26(19-4)
123	甲府城下町遺跡	武田1-3-2	H19	住宅兼店舗建設	5.6 (202.3)	試	三の堀町人地(立町)	溝1・ピット1	土器・陶磁器	GL-0.4m	26(19-6)
124	甲府城下町遺跡	中央5-5-6	H19	個人住宅建築	1 (331.28)	試	三の堀町人地(工町)	土坑1	土器・陶磁器(170後~180前)	GL-0.45m	26(19-7)

125	甲府城下町遺跡	丸の内1-11-9	H19	個人住宅建築	10 (51.92)	試	二の堀内武家屋敷地(柳沢期:近藤圖書屋敷)	溝1(明治以後)	陶磁器	GL-0.6m	26(19-8)
126	甲府城下町遺跡	武田1-2-2他	H19	集合住宅建設	126.4 (1418.5)	試	三の堀町人地(立町)	-	陶磁器(近世・近代)		26(19-10)
127	甲府城下町遺跡	相生2-1	H19	土壌改良	1132.86	立	三の堀町人地(佐渡町)	基礎松杭	陶器・刀		26(19-18)
128	甲府城下町遺跡	丸の内1-344他	2007	甲府紅梅地区市街地再開発事業	1,582	本	二の堀内武家屋敷地(柳沢期:柳沢車人/幕末:徽典館/明治期:裁判所長官官舎)	建物跡2・上水溝7・上水樋2・井戸2・溝12・土坑13・埋溝5・杭列4	土師器・須恵器・土器・陶磁器・瓦・土製品・木製品・石製品・金属製品・ガラス製品	GL-1.1m	28
129	甲府城下町遺跡	丸の内1-12-3他	2007	甲府駅周辺土地区画整理事業	227.00	本	二の堀内武家屋敷地(御先手小路の東)	井戸2・土坑6・溝6・ピット53	土器・陶磁器・瓦・金属製品	GL-2.85m	46
130	甲府城下町遺跡	中央1-11外	2008	甲府地方検察庁新営庁舎建設事業	55 (2,052)	試	二の堀内武家屋敷地(追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	ピット1	陶磁器・土器	GL-1.0m	29,30
131	甲府城下町遺跡	城東2-82他	2008	建物建設	31.00	試	三の堀内町人地(立町)	溝3・土坑1	土器・陶磁器・石製品・木製品・金属製品	GL-0.4m	47
132	甲府城下町遺跡	朝日1-116-2	2008	個人住宅建設	35.00	試	二の堀跡(堅町口の西)	堀跡	-	GL-0.4m	47
133	甲府城下町遺跡	北口2-17他	2008	学校建設	44.00	試	二の堀内武家屋敷地	溝1・土坑1・柱穴6	土器・陶磁器・瓦・石製品・金属製品	GL-0.3m	47
134	甲府城下町遺跡	北口2-17・18・21	2008	甲府駅周辺土地区画整理事業	521.00	本	二の堀内武家屋敷地(柳沢期:千葉与七郎)	建物跡1・井戸1・埋溝2・土坑30・ピット148・溝26・石列6・礎石4・石敷遺構1	土師器・陶磁器・土製品・瓦・ガラス瓶・石製品・木製品・金属製品	GL-0.4m	69
135	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-3他	2008~2010	甲府駅周辺土地区画整理事業	2,892.00	本	二の堀内武家屋敷地(柳沢期:山崎六衛門他)	井戸9・土坑32・ピット292・溝67・道路状遺構1・火葬遺構・苑地遺構・建物基礎跡2・甲府駅関連遺構	土器・陶磁器・土製品・瓦・石製品・金属製品	GL-0.5m	62
136	武田城下町遺跡 甲府城下町遺跡	北口3-83	2009	県立中央病院北口院長宿舎解体事業	70	立	三の堀町人地(元城屋町)	-	-		31,33
137	甲府城下町遺跡	丸の内2-109	2009	立体駐車場建設	951.79	本	二の堀跡(相川町口の東)	建物跡3・土坑21・溝7・井戸4・ピット66	土器・陶磁器・石製品・土製品・木製品・金属製品・ガラス製品	GL-0.6m	34
138	甲府城下町遺跡	朝日2-20他	2009	甲府駅周辺土地区画整理事業	209.00	本	郭外町人地(横沢町口の西)	井戸3・土坑1・溝2・ピット15	土器・土師器・須恵器・陶磁器・瓦・木製品・石製品・金属製品・ガラス製品	GL-0.5m	46
139	甲府城下町遺跡	中央1-11	2010	法務省甲府地方検察庁仮庁舎建設事業	250	立	二の堀内武家屋敷地(追手小路/徽典屋形)	-	-	GL-0.9m(文化層)	33,35
140	武田城下町遺跡 甲府城下町遺跡	北口2	2010	県立図書館アケード設置事業	40	立	二の堀内武家屋敷地(山手小路/橋小路)	-	-		33,35
141	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2010	甲府法務総合庁舎建設事業	695	本	二の堀内武家屋敷地(追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	中世:土坑1 近世以降:溝1 近代:井戸1・杭列 焼土層	瓦・陶磁器・土器	GL-1.2m	35,42
142	甲府城下町遺跡	中央2	2010	(郵)古府中環状浅原橋線電線共同溝設置事業	24.3	立	三の堀町人地(柳町/八日町)	焼土層	陶磁器・土器		35,37

143	甲府城下町遺跡	丸の内1-18-1	2010	庁舎建設	1,800.00	本	二の堀内武家屋敷地 (柳沢期:平岡晋監/甲府勤番支配期:大手役宅/明治期:山梨県庁)	県庁基礎17・建物跡1・溝12・井戸3・池跡1・土坑39・ピット59・集石3	土器・陶磁器・瓦・土製品・石製品・木製品・金属製品・ガラス製品・動物遺体	GL-0.6m	48
144	甲府城下町遺跡	北口2-159他	2010	甲府駅周辺土地区画整理事業 (都)古府中環状浅原橋線(国道411号)拡幅事業	50.00	本	二の堀内武家屋敷地 (橋小路に伴う側溝)	井戸1・溝1・自然流路	土器・陶器	GL-0.6m	69
145	甲府城下町遺跡	中央2	2011	甲府法務総合庁舎建設事業	23	試	三の堀町人地(八日町口/柳町)	焼土層・甲府上水跡	陶磁器・銭貨	GL-0.4~0.8m	37,38
146	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2011	甲府法務総合庁舎建設事業	5.5	立	二の堀武家屋敷地 (追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	-	-		37,38
147	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2011	甲府法務総合庁舎建設事業	210	本	二の堀武家屋敷地 (追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	池状遺構・ピット3	陶磁器・土器・木製品 他		38,42
148	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2011	甲府法務総合庁舎建設事業	65	試	二の堀武家屋敷地 (追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	杭列	木製品	GL-1m	37,38
149	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2011	甲府法務総合庁舎建設事業	36	試	二の堀武家屋敷地 (追手小路/柳沢期:家老鈴木主水)	-	-		37,38
150	甲府城下町遺跡	中央2-404地先他	2011	(都)古府中環状浅原橋線街路事業	90	本	三の堀町人地(柳町/松木金座)	礎石・石列・木柱・土坑・配石・石臼炉 建物跡3・溝18・土坑21・井戸10・ピット339	陶磁器・土器・石製品・木製品・金属製品・他 瓦・石製品・木製品・金属製品	GL-0.5~0.9m (4面あり)	38,41
151	甲府城下町遺跡	北口2-1-8他	2011	甲府駅周辺土地区画整理事業	1,271.00	本	二の堀内武家屋敷地	溝跡1・土坑2	土器・陶磁器・土製品・石製品・木製品・金属製品	GL-0.6m	52
152	甲府城下町遺跡	中央4-15-1	2011	個人住宅建設	8.60	試	三の堀内町人地 (山田町)	-	-	GL-0.4m	58
153	甲府城下町遺跡	丸の内2-145-2	2011	宅地造成	220.00	本	二の堀内武家屋敷地	溝5・石列3・土坑28	土器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品	GL-0.6m	61
154	甲府城下町遺跡	中央2-14外地先	2012	(都)古府中環状浅原橋線街路事業	425	立	三の堀町人地(八日町口/柳町/松木金座)	甲府上水・石列	金付着かわらけ		43,45
155	甲府城下町遺跡	丸の内2-17-6	2012	甲府駅南口周辺地域修景計画	16	試	二の堀武家屋敷地 (城代家老柳沢権太夫保格)	溝状遺構1・焼土・杭2・ピット7	陶磁器・土器	GL-0.8m	43,45
156	甲府城下町遺跡	丸の内2-25	2012	県庁舎耐震化等整備事業	40	確	二の堀外水田地/甲府上水	-	-		45,67
157	甲府城下町遺跡	中央3-109	2012	集会所建設	290.00	本	郭外の武家屋敷地 (甲府勤番支配期:甲府代官所)	溝1・井戸2・ピット2・切石積側溝跡1	土器・陶磁器・土製品・木製品・金属製品	GL-0.6m	40
158	甲府城下町遺跡	中央5-548	2012	街路事業	202.00	本	三の堀内町人地 (柳町)	建物跡7・土坑3・上水樋6・溝1・石組	土師器・須恵器・土器・陶磁器・瓦・土製品・石製品・木製品・金属製品・骨角製品・動物遺体	GL-0.6m	57
159	甲府城下町遺跡	中央5-547	2012	店舗兼個人住宅建設	7.00	試	三の堀内町人地 (魚町)	建物跡1	土器・陶磁器・土製品・金属製品・ガラス製品	GL-0.6m	58
160	甲府城下町遺跡	北口2-1-1	2012	甲府駅周辺土地区画整理事業	756.40	本	二の堀内武家屋敷地 (柳沢期:千葉与七郎)	建物跡3・井戸17・溝15・土坑12・ピット224・集石状遺構・杭列・土管列・煉瓦積の枘形施設・根石	土器・陶磁器・土製品・瓦・ガラス瓶・石製品・金属製品・木製品	GL-0.4m	69

161	甲府城下町遺跡(日向町遺跡)	北口2-22-5	2012	甲府駅周辺土地区画整理事業	516.00	本	二の堀内武家屋敷地	建物跡1・井戸4・溝7・土坑1・ピット110・煉瓦積の枡形3・埋桶2・埋籠4	土器・陶磁器・土製品・石製品・木製品	—	69
162	甲府城下町遺跡	丸の内2-861-2他	2012	甲府駅周辺土地区画整理事業	374.40	本	中世：長延寺敷地 近世：二の堀内武家屋敷地 (柳沢権太夫屋敷地)	井戸1・溝15・土坑4・ピット110・埋桶・埋籠・柵列	土器・陶磁器・瓦・石製品・金属製品・木製品	GL-0.5m	69
163	甲府城下町遺跡	中央2・4	2013	(都)古府中環状浅原橋線改良事業	140.4	立	三の堀町人地(八日町口/柳町/松木金座)	—	陶磁器	—	50.51
164	甲府城下町遺跡	中央1-11-8	2013	甲府法務総合庁舎建設事業	44	試	二の堀武家屋敷地(追手小路/柳沢期：家老翁木主木)	—	磁器	—	50.51
165	甲府城下町遺跡	丸の内1-30-5外	2013	甲府駅南口周辺地域修景計画(駅前駐輪場整備)	2014	本	二の堀武家屋敷地(城代家老柳沢権太夫保格)	柵状遺構3・建物跡2・溝状遺構2・井戸2・池状遺構1・土坑23・ピット131他	陶磁器・土器・土製品・木製品・金属製品・古銭	GL-1.0m	51.54
166	甲府城下町遺跡	丸の内3-895-1	2013	マンション建設	260.00	本	郭外町人地(西青沼町一丁目)	建物跡・溝10・土坑36・ピット31	土器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品	GL-0.6m	53
167	甲府城下町遺跡	中央4-144他	2013	街路事業	60.00	本	三の堀内町人地(柳町)	建物跡2・土坑21・上水竹管1・溝	土器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品・骨角製品	GL-0.8m	59
168	甲府城下町遺跡	相生2-226他	2013	保健福祉センター建設	1,760.00	本	郭外の武家屋敷地(代官町)	建物跡4・井戸6・埋桶5・埋籠1・土坑44・ピット16・溝23	土器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品・骨角製品・動物遺体	GL-0.8m	60
169	甲府城下町遺跡	丸の内1-12-10	2013	区画整理	90.00	本	二の堀内武家屋敷地	溝3・土坑5・ピット8	陶磁器・瓦・石製品・金属製品	GL-0.6m	61
170	甲府城下町遺跡	相生2-216-12他	2013	個人住宅建設	3.70	試	郭外の武家屋敷地(佐藤町)	—	土器・陶磁器	GL-0.6m	68
171	甲府城下町遺跡	武田2-198他	2013	個人住宅建設	13.50	試	三の堀・土壘(長禪寺前)	堀跡・溝・ピット2	土製品・古銭	GL-0.35m	42
172	甲府城下町遺跡	中央2-177	2013	学習センター建設	13.00	試	郭外の武家屋敷地(長禪寺前)	—	土器・陶磁器	GL-0.3m	68
173	甲府城下町遺跡	中央2-348	2013	駐車場解体	3.90	試	三の堀内町人地(堅近習町)	土坑1・ピット2	土器・磁器	GL-0.4m	68
174	甲府城下町遺跡	中央4-141他	2013	個人住宅建設	32.00	試	三の堀内町人地(柳町二丁目) 江戸初期：鍛冶場/江戸前期：旅館/明治4年：旅館屋八巻藤蔵の屋敷地	土蔵2・礎石建物1・上水竹管2・土坑30・金属精錬炉跡2・井戸2・溝1	土器・陶磁器・瓦・石製品・金属製品・木製品・骨製品・動物遺体	GL-0.4m	68
175	甲府城下町遺跡	中央4-640	2013	個人住宅建設	29.25	試	三の堀内町人地(魚町五丁目)	溝1・土坑2・埋桶1	土器・陶磁器・瓦・石製品・金属製品・木製品・土製品	GL-0.3m	68
176	甲府城下町遺跡	丸の内1-71	2013	店舗建設	2.70	試	柳曲輪	—	瓦	GL-0.2m	68
177	甲府城下町遺跡	中央2-12-19	2014	(都)古府中環状浅原橋線街路事業	10	試	三の堀町人地(柳町)	甲府上水	陶磁器	GL-0.5m	55.56
178	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-9隣接地	2014	甲府駅南口周辺地域修景計画(平和通り中央分離帯)	29	試	二の堀武家屋敷地(柳門西)	柱穴	—	GL-1.2m	55.56.78
179	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-9隣接地	2014	甲府駅南口周辺地域修景計画(平和通り中央分離帯)	30	本	二の堀武家屋敷地(柳門西)	柱穴	—	GL-1.2m	56.78

180	甲府城下町遺跡	丸の内2-114	2014	店舗建設	22.50	試	二の堀跡 (相川町口の東)	堀跡	—	GL-2.0m	68
181	甲府城下町遺跡	北口3-4	2014	個人住宅建設	4.00	試	二の堀跡 (愛宕町口の北)	堀跡	—	GL-0.8m	68
182	甲府城下町遺跡	中央1-287他	2014	店舗建設	10.50	試	二の堀跡 (片羽町口の東)	堀跡	—	GL-0.5m	68
183	甲府城下町遺跡	中央2-403-2	2014	店舗建設	2.88	試	三の堀内町人地 (柳町)	—	陶磁器・土製品	GL-0.6m	68
184	甲府城下町遺跡	北口2-24	2014	個人住宅建設	16.50	試	二の堀跡 (元城屋町口の西)	堀跡	—	GL-0.9m	68
185	甲府城下町遺跡	北口1-150外	2015	旧甲府地方務局埋設物 掘削調査	5	立	二の堀武家屋敷地(御 先手小路)	—	—	—	65.66
186	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-14他	2015	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場・平和通り)	—	確・立	二の堀武家屋敷地(城 代家老柳沢権大夫保格 他)	井戸・土坑・ピット	瓦・陶磁器・土器	—	66.78
187	甲府城下町遺跡	中央2-12-19	2015	(都)古府中環状浅原橋 線改築事業	33.7	本	三の堀町人地(柳町)	建物礎石・かまど・水場 遺構	陶磁器・木製品	—	64.66
188	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-14他	2015	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場公衆用トイレ建設)	30	本	二の堀武家屋敷地(城 代家老柳沢権大夫保 格)	地業跡・ピット	陶磁器・土器・金属製品	GL-1.0m	66.78
189	甲府城下町遺跡	北口3-75	2015	個人住宅建設	14.00	試	三の堀内町人地 (元紺屋町)	溝1・石列1・土坑1・ ピット。1	土師器・陶器・金属製品	GL-0.2m	76
190	甲府城下町遺跡	中央2-348-2	2015	個人住宅建設	12.00	試	二の堀跡 (近喜町口の東)	堀跡	土師器・陶磁器	GL-1.0m	76
191	甲府城下町遺跡	丸の内2-7-16	2016	公用車等駐車場整備事業	65	試	二の堀武家屋敷地(青 沼町口/御米蔵)	整地層・溝状遺構・堀状 遺構	陶磁器	—	70.71
192	甲府城下町遺跡	中央2	2016	国道411号古府中環状浅 原橋線改良事業	189	立	三の堀町人地(柳町/八 丁目)	土間状遺構・礎石・水路 他	陶磁器・土器 他	GL-0.5~1.0m	70.71.7 4
193	甲府城下町遺跡	丸の内1-2-14	2016	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場総合案内所建設)	95.5	本	二の堀武家屋敷地	瓦・礫集中・木杭	瓦・陶磁器・土器 他	GL-1.0m	71.78
194	甲府城下町遺跡	武田2-170-1	2016	個人住宅建設	71.00	本	三の堀内町人地 (大工町)	溝6・土坑5・井戸2・ ピット5	かわらけ・瀬戸美濃系陶 器・青磁・白磁・染付・ 金属製品・石製品・土製 品	GL-0.3m	81
195	甲府城下町遺跡	中央4-453他	2016	店舗兼個人住宅建設	12.00	試	三の堀内町人地 (上運雀町)	—	陶磁器・レンガ・ガラス 瓶・戦災遺物等	GL-0.4m	81
196	甲府城下町遺跡	中央4-564-1他	2016	個人住宅建設	57.00	本	三の堀内町人地 (柳町)	石積3・穴蔵1・溝1・木 製水路1・埋橋3・土坑 3・池跡	陶磁器・かわらけ・焙 烙・壁土・漆器・瓦・金 属製品・石製品・木製 品・ガラス瓶	GL-0.3m	81
197	甲府城下町遺跡	丸の内2-51他	2016	店舗建設	14.00	試	二の堀内武家屋敷地	—	磁器・瓦	GL-0.5m	81
198	甲府城下町遺跡	丸の内1-1-9	2017	甲府駅南口周辺地域修景 計画(甲府駅南口駅前広 場水景施設地下機械室設 置)	25	本	二の堀武家屋敷地(城 代家老柳沢権大夫保 格)	柱穴列・井戸・石組遺構	瓦・陶磁器・土器 他	GL-1.5m	75.78
199	甲府城下町遺跡	丸の内2-17-6	2017	公用車等駐車場整備事業	940	本	二の堀武家屋敷地(青 沼町口/御米蔵)	集水桁・暗渠・石垣・盛 土状遺構・溝・土坑・ ピット	瓦・陶磁器・土器・木製 品・金属製品 他	GL-1.0m	75.77
200	甲府城下町遺跡	丸の内2-17-6	2018	甲府道路維持工事	5	立	百石町武家屋敷/甲府上 水	水路	—	—	79.80
201	甲府城下町遺跡	武田2-1-7	—	店舗建設	—	試	三の堀町人地(新紺屋 町)	土坑	—	—	6

- 1 佐々木満 1998「失われた近世都市の風景－甲府城下町の諸相」『甲斐路』92号
- 2 山梨県教育委員会 1999『日向町遺跡発掘調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第171集
- 3 山梨県教育委員会 1999『山梨県埋蔵文化財センター一年報15』
- 4 桜シルク工業株式会社/甲府市教育委員会 2001『甲府城下町遺跡Ⅰ－北口二丁目（桜シルク跡）発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告15
- 5 山梨県教育委員会 2001『山梨県埋蔵文化財センター一年報17』
- 6 山梨県教育委員会 2002『山梨県埋蔵文化財センター一年報18』
- 7 甲府市教育委員会 2002『甲府城下町遺跡Ⅱ－武田二丁目（いちやまマート駐車場跡）発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告19
- 8 山梨県教育委員会 2003『山梨県埋蔵文化財センター一年報19』
- 9 山梨県教育委員会/（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 2004『甲府城下町遺跡－甲府駅周辺土地区画整理事業地内43街区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第215集
- 10 山梨県教育委員会/山梨県土地開発公社 2004『甲府城下町遺跡（日向町第2地点）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第220集
- 11 山梨県教育委員会 2004『山梨県埋蔵文化財センター一年報20』
- 12 甲府市教育委員会 2004『甲府市内遺跡Ⅰ－昭和61年度～平成5年度試掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告26
- 13 山梨県教育委員会 2005『県指定史跡甲府城跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第222集
- 14 山梨県教育委員会 2006『甲府城跡周辺確認調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第232集
- 15 山梨県教育委員会/山梨県土木部 2006『県指定史跡甲府城跡 平成17年度調査・整備報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第233集
- 16 株式会社タイタ/甲府市教育委員会 2006『甲府城下町遺跡Ⅲ－甲府市丸の内2丁目ホテル建設に伴う発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告33
- 17 山梨県教育委員会 2007『山梨県埋蔵文化財センター一年報23』
- 18 山梨県教育委員会/国土交通省 2007『甲府城下町遺跡（甲府地方裁判所地点）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第249集
- 19 東日本旅客鉄道株式会社/甲府市教育委員会 2007『甲府城跡－総合事務所建設に伴う発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告34
- 20 甲府市教育委員会 2007『甲府市内遺跡Ⅳ－平成9～10年度試掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告35
- 21 甲府市教育委員会 2008『甲府市内遺跡Ⅴ－平成11～12年度試掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告38
- 22 山梨県教育委員会 2008『山梨県内分布調査報告書（平成19年）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第257集
- 23 山梨県教育委員会 2008『甲府城下町遺跡（北口県有地）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第258集
- 24 宮澤公雄 2008「甲府城跡（清水曲輪）」『2008年度下半期遺跡調査発表会資料』山梨県考古学協会
- 25 山梨県教育委員会/山梨県土木部 2008『県指定史跡甲府城跡 平成19年度調査・整備報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第250集
- 26 甲府市教育委員会 平成17年度～19年度分
- 27 山梨県教育委員会 2009『山梨県内分布調査報告書（平成20年）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第263集
- 28 甲府紅梅地区市街地再開発組合/甲府市教育委員会 2009『甲府城下町遺跡Ⅴ－甲府紅梅地区市街地再開発に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告52
- 29 山梨県教育委員会 2010『山梨県埋蔵文化財センター一年報25』
- 30 山梨県教育委員会 2010『山梨県内分布調査報告書（平成21年）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第266集
- 31 山梨県教育委員会 2010『山梨県埋蔵文化財センター一年報26』
- 32 甲府市教育委員会 2010『甲府城跡山手御門－甲府市歴史公園山手御門埋蔵文化財の試掘調査・発掘調査・整備報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告50
- 33 山梨県教育委員会 2011『山梨県内分布調査報告書（平成22年）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第280集
- 34 社団法人山梨勤労者医療協会/財団法人山梨文化財研究所/ 2011『甲府城下町遺跡（丸の内二丁目109地点）－立体駐車場建設に伴う発掘調査報告書Ⅰ』
- 35 山梨県教育委員会 2012『山梨県埋蔵文化財センター一年報27』
- 36 山梨県教育委員会 2012『甲府城跡-薬屋曲輪地点-県庁舎耐震化等整備事業（防災新館建設）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第284集
- 37 山梨県教育委員会 2012『山梨県内分布調査報告書（平成23年）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第287集
- 38 山梨県教育委員会 2012『山梨県埋蔵文化財センター一年報28』
- 39 甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2012『甲府城下町遺跡Ⅵ－甲府駅周辺土地区画整理事業（舞鶴城公園西通り線）に伴う発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告57
- 40 甲府市教育委員会/国際文化財株式会社 2012『甲府城下町遺跡Ⅶ－集会所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』甲府市文化財調査報告61
- 41 山梨県教育委員会 2013『甲府城下町遺跡-都市計画道路「古中環状浅原橋線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第288集

- 42 山梨県教育委員会 2013 『甲府城下町遺跡-甲府法務総合庁舎建設事業に伴う発掘調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第292集
- 43 山梨県教育委員会 2013 『山梨県内分布調査報告書(平成24年)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第293集
- 44 山梨県教育委員会 2013 『県指定史跡甲府城跡鉄門復元整備事業報告書(上巻・下巻)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第294集
- 45 山梨県教育委員会 2013 『山梨県埋蔵文化財センター調査報告書(上巻・下巻)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第294集
- 46 甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2013 『甲府城下町遺跡Ⅳ-甲府駅周辺土地地区画整理事業(17.43街区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告62
- 47 甲府市教育委員会 2013 『甲府市内遺跡Ⅹ-平成19～20年度試掘確認調査報告書-』甲府市文化財調査報告63
- 48 甲府市教育委員会 2013 『甲府城下町遺跡Ⅹ-庁舎建設に伴う発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告64
- 49 山梨県教育委員会 2014 『甲府城跡-栗屋曲輪地点-県庁舎耐震化等整備事業(駐輪場建設)にともなう埋蔵文化財発掘調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第295集
- 50 山梨県教育委員会 2014 『山梨県内分布調査報告書(平成25年)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第297集
- 51 山梨県教育委員会 2014 『山梨県埋蔵文化財センター年報30』
- 52 甲府市教育委員会/株式会社シンテック 2014 『甲府城下町遺跡Ⅹ-甲府駅周辺土地地区画整理事業(舞鶴城公園西通り線)に伴う発掘調査報告書2-』甲府市文化財調査報告66
- 53 第一交通産業株式会社/甲府市教育委員会 2014 『甲府城下町遺跡ⅩⅠ-アークパレット甲府丸の内建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告69
- 54 山梨県教育委員会 2015 『甲府城下町遺跡(駅前駐輪場地点)-甲府駅南口周辺地域修景計画に係る駅前駐輪場建設に伴う発掘調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第305集
- 55 山梨県教育委員会 2015 『山梨県内分布調査報告書(平成26年)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第307集
- 56 山梨県教育委員会 2015 『山梨県埋蔵文化財センター年報31』
- 57 山梨県中北建設事務所/甲府市教育委員会/株式会社バスコ 2015 『甲府城下町遺跡ⅩⅡ(山梨県甲府市中央2・4丁目地内)-都市計画道路「古府中環状浅原橋線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告72
- 58 甲府市教育委員会 2015 『甲府市内遺跡ⅩⅠ-平成23～24年度市内遺跡試掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告73
- 59 山梨県中北建設事務所/甲府市教育委員会/昭和測量株式会社 2015 『甲府城下町遺跡ⅩⅢ(中央4丁目144地)-都市計画道路古府中環状浅原橋線街路事業に伴う発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告74
- 60 甲府市教育委員会/昭和測量株式会社 2015 『甲府城下町遺跡ⅩⅣ(甲府市相生2丁目226番地)-公共福祉施設建設に伴う旧相生小学校地点発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告75
- 61 甲府市/甲府市教育委員会/昭和測量株式会社 2015 『甲府城下町遺跡ⅩⅤ(丸の内1丁目12-10地点)-宅地造成・区画整理に伴う発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告76
- 62 甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2015 『甲府城下町遺跡ⅩⅥ-甲府駅周辺土地地区画整理事業(41.42街区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告-』甲府市文化財調査報告79
- 63 甲府市/甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2015 『甲府城跡(歴形曲輪地点)-甲府駅南口駐輪場建設(甲府丸の内1丁目563-6他)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告80
- 64 山梨県教育委員会 2016 『甲府城下町遺跡(旧柳町一丁目地点)-(都)古府中環状浅原橋線改善事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第308集
- 65 山梨県教育委員会 2016 『山梨県内分布調査報告書(平成27年)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第309集
- 66 山梨県教育委員会 2016 『山梨県埋蔵文化財センター年報32』
- 67 山梨県教育委員会 2017 『甲府城跡-県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第313集
- 68 甲府市教育委員会 2016 『甲府市内遺跡ⅩⅡ-平成25～26年度市内遺跡試掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告81
- 69 甲府市/甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2016 『甲府城下町遺跡ⅩⅦ-甲府駅周辺土地地区画整理事業(甲府北口二丁目17・18・21地点他)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告65
- 70 山梨県教育委員会 2017 『山梨県内分布調査報告書(平成28年1月～12月)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第315集
- 71 山梨県教育委員会 2017 『山梨県埋蔵文化財センター年報33』
- 72 甲府市教育委員会/公益財団法人山梨文化財研究所 2017 『甲府城跡(清水曲輪地点他)-甲府駅周辺土地地区画整理事業(甲府城跡清水曲輪地点他)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告89
- 73 株式会社マリモ/公益財団法人山梨文化財研究所 2017 『甲府城下町遺跡(丸の内一丁目1-3地点)-マンション建設に伴う発掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告96
- 74 山梨県教育委員会 2018 『山梨県内分布調査報告書(平成29年1月～12月)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第317集
- 75 山梨県教育委員会 2018 『山梨県埋蔵文化財センター年報34』
- 76 甲府市教育委員会 2018 『甲府市内遺跡ⅩⅢ-平成27年度市内遺跡試掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告98
- 77 山梨県教育委員会 2019 『甲府城下町遺跡(公用車等駐車場地点)-公用車等駐車場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第321集
- 78 山梨県教育委員会 2019 『甲府城下町遺跡-平成26～30年度甲府駅南口周辺地域修景計画事業に伴う埋蔵文化財調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第322集
- 79 山梨県教育委員会 2019 『山梨県内分布調査報告書(平成30年1月～12月)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第324集
- 80 山梨県教育委員会 2019 『山梨県埋蔵文化財センター年報35』
- 81 甲府市教育委員会 2019 『甲府市内遺跡ⅩⅣ-平成28年度試掘調査報告書-』甲府市文化財調査報告102
- 82 山梨県教育委員会 2020 『甲府城-甲府城周辺地域活性化実施計画に伴う山梨県民会館跡地周辺埋蔵文化財確認調査報告書-』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第326集
- 83 山梨県教育委員会 2020 『山梨県内分布調査報告書(平成31年1月～4月・令和元年5月～12月)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第327集